

第20回 2023年度

小学生のぼうさい探検隊
マップコンクール

入選作品集



小学生のぼうさい探検隊マップコンクール

CONTENTS

● 審査の様子	2P	● 入選作品紹介	6P
● 審査基準および応募作品の傾向	3P	● 応募状況	31P
● 審査総評	4P	● 過去の入選作品	34P

入選一覧

- **文部科学大臣賞**
愛媛県宇和島市立遊子小学校
「遊子のみんなの命を守り隊」(6年生/愛媛県)
- **防災担当大臣賞**
宮城県石巻市立北上小学校「北上小学校」(5年生/宮城県)
- **消防庁長官賞**
和歌山県有田郡有田川町立石垣小学校
「防災たんけん石垣っ子」(4、5年生/和歌山県)
- **まちのぼうさいキッズ賞**(日本ユネスコ国内委員会会長賞)
Kids Creation Afterschool
「Kids Creation Afterschool ぼうさい探検隊」
(1~6年生/茨城県)
- **気象庁長官賞**
高知県土佐市立蓮池小学校「蓮池は一す隊」(5年生/高知県)
- **キッズリスクアドバイザー賞**(日本損害保険代理業協会賞)
大西キッズ「大西キッズ2023」(4、6年生、年長/山口県)
- **未来へのまちづくり賞**(朝日新聞社賞)
千葉県旭市立中和小学校「中和小学校4年1組」(4年生/千葉県)
- **わがまち再発見賞**(日本災害救援ボランティアネットワーク賞)
北海道奥尻町立青苗小学校
「青苗小3・4年ぼうさいキッズ」(3、4年生/北海道)
- **ぼうさい探検隊賞**(日本損害保険協会賞)
中里放課後子ども教室
「中里放課後子ども教室」(4~6年生/岩手県)
- **審査員特別賞**
相馬市立中村第二小学校放課後児童クラブ いるかクラブ
「いるか探検隊」(3年生/福島県)
福島県相馬市川原町児童センター みつばち防災探検隊
「みつばち防災探検隊」(3年生/福島県)
西部子ども公民館放課後児童クラブ こすもすクラブ
「こすもす防災探検隊」(4~6年生/福島県)
福井県小浜市立雲浜小学校「チーム4雲」(4年生/福井県)
愛媛県愛南町立柏小学校「柏じまんチーム」(3~6年生/愛媛県)
愛媛県愛南町立柏小学校「チームZAKI」(6年生/愛媛県)
愛媛県宇和島市立立間小学校「八坂・高森」(3~5年生/愛媛県)
にこにこ学童大西クラブ「えがおを守るたんけん隊」
(2~4、6年生/沖縄県)
- **デジタルマップ特別賞**
ガールスカウト 神奈川県第53団
「GS KANAGAWA 53」(1、3、4、6年生/神奈川県)
池小学童クラブ サニーサイド
「防犯たんけんパンダ隊」(4年生/静岡県)
日本ボーイスカウト奈良県連盟 大和郡山第1団カブスカウト隊
「いつもげんき! 1組」(3~5年生/奈良県)
沖縄県豊見城市なないろ児童クラブ
「なないろユニバース探検隊」(3、4年生/沖縄県)
沖縄県豊見城市志茂田児童クラブ
「しもた安全隊」(3~5年生/沖縄県)

ごあいさつ



にほんそんがいはんけんきょうかいかいしやうにいろ
日本損害保険協会会長の新納です。はじめに、令和6年石川県能登半島地震によりお亡くなりになられた方々
に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災された方々に心からお見舞い申し上げます。私ども損害保険業界
といたしましても、皆さまのお力となりますよう、被害状況の把握に努め、皆さまからのお問い合わせ・ご相談
などに親身にお応えするとともに、保険金の迅速なお支払いに全力で努めてまいります。

さて、今回の「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」に入賞された皆さん、おめでとうございます。応募
いただいた作品からは、新型コロナウイルスの流行が落ち着き、再び皆さんが元気にまちを探検して、丁寧にマッ
プを作ってくれたことが伝わってきました。どの作品もとても素晴らしい出来栄で、審査員からは「入選作品を選ぶ作業が大変だっ
た」という声も聞こえてきたほどです。その中で、見事に入賞された皆さんに拍手を送りたいと思います。

今回のコンクールは、関東大震災から100年が経つ2023年に行われたこともあり、今までで一番多い658の小学校や児童館などから
8,904人が参加し、1,708点もの作品を応募いただきました。また、全国で例年以上にさまざまな活動が行われました。

例えば、皆さん自身が避難するだけでなく、ペットを連れてきた方、高齢の方、障がいをお持ちの方や外国からいらした方など、避難時に助
けが必要な人たちの立場に立って、安全な場所や危険な場所を教えてくださいました。作品が数多くありました。

また、作品の中には、危なさや安全性を数字で表し分かりやすくしているものや、実際に見て、聞いて、体験して、防災・防犯・交通安全の
大切さを学んだことがうかがえる作品もあり、とても感心しました。

さらに、「ぼうさい探検隊」の活動は海外にも伝わっていて、タイやカナダからも「ぼうさい探検隊」マップの応募があったといううれ
しいニュースもありました。

日本全体の状況を見ると、台風や大雨、今回の能登半島での地震など、たくさんの自然災害が発生しており、身を守るために、自分たちの
まちを知ることは、とても大切な活動だと思います。

皆さんには、今回のマップづくりで学んだことを周りの人に話して欲しいと思います。そうすることで、大人たちも今まで以上に防
災・防犯・交通安全を意識するようになり、皆さんが住んでいるまちがもっと住みやすくなるはずですよ。

早いもので、「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」は、今年度で20回目を迎えました。今日まで大規模なコンクールを継続して開催
し、素晴らしい数々の作品をご応募いただくことができていますのは、ひとえに関係者の皆さまのご協力のおかげです。

日頃から指導にあたられている先生方、団体・地域・保護者の皆さま、この取組みを応援いただいている政府や自治体などの皆さま
に、厚く御礼申し上げます。

小学生の皆さんが「ぼうさい探検隊」の取組みを通じて学んだことを活かし、安全で健やかな生活を送り、立派に成長されることを願い、
私からの挨拶とさせていただきます。

いっぱんしゃだんほうじん にほんそんがいはんけんきょうかいかい
一般社団法人 日本損害保険協会
会長 新納 啓介



「ぼうさい探検隊」とは…

子どもたちが楽しみながらまちを探索し、まちにある防災・防犯・交通安全の施設や設備を発見し
てマップにまとめる活動のことです。マップ作成後は、発表を通して活動を振り返り、学んだことを
みんなで共有します。子どもたちの「安心・安全への意識」が高まるだけでなく、まさに「地域ぐる
みの安全“共有”」が着実に深まり、コミュニティの強化にもつながります。

主催 日本損害保険協会/朝日新聞社/日本災害救援ボランティアネットワーク
後援 内閣府/文部科学省/警察庁/消防庁/気象庁/UNESCO/日本ユネスコ国内委員会/日本ユネスコ協会連盟/
全国都道府県教育委員会連合会/沖縄県/アジア防災センター/児童健全育成推進財団/日本損害保険代理業協会/
ボーイスカウト日本連盟/ガールスカウト日本連盟/NHK

審査の様子

2023年度のコンクールには、全国の小学校や子ども会・児童館・少年消防クラブなど、658団体から8,904人の児童が参加し、1,708作品が寄せられました。第1回から第20回までの参加人数は累計22万7千人を超えました。

審査員の方々から、「どの作品にもそれぞれすばらしい視点があって、甲乙つけがたい」「どの作品からも、児童と地域の方々とのつながりがひしひしと伝わってきて、選出が難しい」などの感想が寄せられました。

審査日程

事務局審査:2023年11月14日(火)

第一次審査:2023年11月21日(火)

本審査:2023年12月4日(月)

結果発表:2023年12月20日(水)

本審査の様子



本審査員

室崎 益輝氏 神戸大学名誉教授／兵庫県立大学名誉教授

木下 史子氏 文部科学省 総合教育政策局
男女共同参画共生社会学習・安全課 安全教育調査官

西澤 雅道氏 内閣府 政策統括官(防災担当)付企画官(普及啓発・連携担当)

平山 貴至氏 総務省消防庁 国民保護・防災部防災課 地域防災室 課長補佐

匂坂 克久氏 文部科学省 国際統括官付国際交渉分析官

高橋 賢一氏 気象庁 総務部企画課 地域防災企画室 室長

小田島 綾子氏 一般社団法人 日本損害保険代理業協会 会長

市川 雄輝 株式会社 朝日新聞社 CSR推進部 次長

渥美 公秀 認定NPO法人 日本災害救援ボランティアネットワーク 副理事長

伊豆原 孝 一般社団法人 日本損害保険協会 常務理事

審査基準および応募作品の傾向

審査基準

提案性(子どもの視点でのまちへの提案や、地域改善へ向けた気づき・提言)

- 子どもならではの発見やまちへの提言が書かれているか
- マップを通して伝えたいことが明確になっているか

教育効果性(子どもたちの防災・防犯・交通安全意識の変化、地域への愛着・関心の醸成)

- マップを作成するにあたり、しっかり地域を調べているか
- 地域住民とのコミュニケーションなどにより、多くの人から学んだ姿勢が見えるか

地域性・テーマ性(地域固有の災害特性や問題点、まちの様子や特徴)

- 地域の災害や危険な場所を想定した作品づくりができているか
- 地域災害の特性や問題点などが明確になっているか

ビジュアル性(地図として見やすく、情報を簡潔に伝えるための工夫)

※紙作品のみ

- 色や写真、イラストを効果的に使用しているか
- 多くの人に見やすく、分かりやすい作品になっているか

※デジタルマップ(タブレット)作品のみ

- 単に安全・危険だけでなく、写真の場所を説明するコメント(高い塀がある、信号機がないなど)が記載されているか
- 実際に発見したものや場所を記載するだけでなく、コメント欄に発見したものや場所に対する子どもたちの感想や考えなどが一緒に記載されているか
- 指導者が子どもたちの言動や思いをしっかりと把握し、作品紹介用紙に記入しているか

提案性

- 街灯、カーブミラーや避難場所への誘導看板の設置、道路の薄くなった白線の塗り直しのほか、ブロック塀の倒壊や側溝にグレーチング(溝蓋)が設置されていないことの危険性について指摘し、自治体などに改善を要望したことが分かる作品が多くあった。

- ペット同行者、高齢者、障がい者や外国人といった、避難時に配慮や支援が必要となる方の目線に立ち、具体的な避難行動やまちの改善が必要な箇所について提案している作品が見受けられた。

教育効果性

- 地域の方や交番、消防署などにインタビューを行って得た学びや気づきをマップにまとめることで、子どもたちの安全意識の向上につながったと見られる作品が多くあった。

- 地域の特性について、過去の文献やハザードマップといった公的機関が作成するコンテンツなどを利用して、深く調べていることが分かる作品が多く見受けられた。

地域性・テーマ性

〈防災〉

- 地震や津波が発生した際の避難場所のほか、連絡手段、持ち物リストを記載することで、避難時にとるべき行動を伝えている作品が多く見受けられた。
- ライフジャケットを装着したり、非常食を食べたりするなど、実際に体験することで災害への備えの重要性を学び、伝える作品が見受けられた。
- 通学時の熱中症対策といった具体的なテーマを設けた作品などが見られた。

- 実際に不審者対策訓練を実施して、子どもたちがより理解を深めていることが分かる作品があった。
- 人通りの少ない場所や、街灯が少なく、暗がりとなる場所についてまとめ、「い・か・の・お・す・し」(※)などの防犯標語を用いて注意喚起をしている作品が多く見受けられた。
※防犯標語「ついていかない」「車にらない」「おおごえを出す」「すぐ逃げる」「大人の人にらせる」のこと。

〈交通安全〉

- 標識の意味を調べ、イラストで分かりやすくまとめているマップが多く見受けられた。
- 車の交通量がよく危険な場所や広い歩道がある安全な場所など、子どもたち目線での危険度や安全度を数値化することで、一目で伝わる工夫をした作品が多くあった。

〈防犯〉

- まちの防犯カメラの設置位置を調べたり、人が隠れやすく、不審者が潜む可能性のある場所をまとめたりすることで、注意を促す作品が多く見受けられた。

ビジュアル性

- イラスト、クイズ、グラフなどを用いて理解が深まる工夫を凝らしている作品が多く見受けられた。

- 危険な場所や安全な場所を付箋の色や形で表現するほか、地図を簡素化してポイントを絞って図示することで、視覚的に伝わりやすい工夫をしている作品が見受けられた。

審査総評



審査員長
室崎 益輝 氏
神戸大学名誉教授/
兵庫県立大学名誉教授

この数年間、応募数は新型コロナウイルスの影響を受けて減少していましたが、今回のコンクールは、それを乗り越える形で1,700点を超える作品が寄せられました。ぼうさい探検隊の取組みが再び全国に広がりつつあることを大変喜ばしく思います。

今回の作品は、地球温暖化の影響による大雨被害の増加を懸念した洪水被害や土砂災害対策のマップ、災害発生時に周辺からの支援が必要な人たちに向けて作成したマップなどを数多くご応募いただきました。自らが手を差し伸べるといふ姿勢が明確に出ていることをとてもうれしく思っています。また、災害の種類やその違いを科学的に学習して提案しているマップ、さまざまな団体・組織・機関の方々と対話を通して学んだ地域特性を踏まえて提案がなされているマップも多く見受けられました。

「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」は開始から20年が経過しました。作品は年々進化を遂げていますが、それは、多くの児童の皆さんが防災・防犯・交通安全などに関心を持ち、積極的に関わることができている証拠だと思います。今年もたくさんの素晴らしい作品をありがとうございました。

■文部科学大臣賞

愛媛県宇和島市立遊子小学校・遊子のみんなの命を守り隊の作品は、地域の人々が安全に避難するための対策をテーマに作成されています。地域の人々と一緒に裏山への避難路を整備したことをきっかけに、地域のいくつかの避難場所を取り上げ、避難経路や、避難場所の問題点を明らかにし、改善方法も示しています。また、「みんなが助か

る」という視点から、イエローフラッグという避難した目印として住まいにイエローのフラッグを立てるというような新しい提案をしている点も高く評価できます。

■防災担当大臣賞

宮城県石巻市立北上小学校の作品は、東日本大震災による被害を教訓として、より安全な地域を目指すことに焦点を当て作成されています。特に、学校周辺の施設を訪れ、震災の体験者から聞いた重要な教訓を丁寧に整理している点や、現在の避難場所へ実際に足を運び、安全性・危険性をチェックしている点が評価できます。また、地域の4つの小学校を比較し、それらを踏まえて北上小学校における安全性を考察している点が大変すばらしいと思います。

■消防庁長官賞

和歌山県有田郡有田川町立石垣小学校の作品は、有田川のはんらん氾濫による被害経験を踏まえ、河川氾濫時の避難に焦点を当て作成された防災マップです。地域ごとに避難場所・避難経路を丁寧に調べており、地域の人々にしっかり届けたという思いがあらわれています。また、避難経路の良い面と悪い面の両方で整理できており、ブロック塀の倒壊や道路のひび割れなどを指摘したこのマップは、これからの避難対策の充実に役立つ作品です。

■まちのぼうさいキッズ賞 (日本ユネスコ国内委員会会長賞)

Kids Creation Afterschoolの作品は、災害発生時に外国人の方が危険箇所に取り残されないように作られた防災マップです。マップには英語を併記しているほか、河川氾濫時の浸水危険レベルごとに色分けをしてだれもが自分の住んでいる場所の危険性を視覚的に分かるよう工夫されています。また、つくば市役所に対し要望・提言するだけでなく、児童自らも外国人の方々の安全のために努力をすることを決意されている点がすばらしいと思います。

■気象庁長官賞

高知県土佐市立蓮池小学校・蓮池は一す隊の作品は、線状降水帯による豪雨災害に対する防災マップです。地域に

おける災害の危険性を洪水と土砂災害の大きく2つの危険に分け、災害ごとの避難のタイミングや対応の違いについて、科学的な検討を踏まえて提案しています。また、自分たちだけでなく、自分たちより下の世代のことも考えてマップを作成しており、地域全体で安全対策に取り組むたいという思いが強く伝わってくる作品です。

■キッズリスクアドバイザー賞 (日本損害保険代理業協会賞)

大西キッズの作品は、マップ専用タブレットも活用しながら、ハイブリッドな形で紙マップにまとめている点が最大の特徴です。地域に潜む災害・犯罪・交通安全のリスクを総合的に捉えられている点が評価できます。また、タブレットで収集したさまざまな画像データを地図上に非常に分かりやすく整理して配置しており、地域の危険状況を具体的に理解できるように工夫されています。

■未来へのまちづくり賞(朝日新聞社賞)

千葉県旭市立中和小学校の作品は、ため池の多い地域であることを念頭に、ため池の氾濫による洪水・浸水被害や地盤が弱いことによる土砂災害の発生についてしっかり調べられています。また、マップの作成にあたり、行政機関の方々に丁寧にインタビューを行い、地域の歴史や課題を把握したうえでマップを作成している点も高く評価できます。

■わがまち再発見賞 (日本災害救援ボランティアネットワーク賞)

北海道奥尻町立青苗小学校の作品は、30年前の北海道南西沖地震による津波被害を踏まえた現在の防災対策に焦点を当てて作成されています。避難所の安全性だけでなく、実際の収容人数にも着目してチェックしている点が評価できます。また、防潮堤、人工地盤やピロティ構造の建物、さらには水門などの重要性を改めて学んできますが、災害伝承のマップとしてもとても重要であると思

■ぼうさい探検隊賞(日本損害保険協会賞)

中里放課後子ども教室の作品は、地滑りの危険性が高いという地域特性を踏まえ、地滑りのメカニズムや危険性を勉強し、それらを分かりやすくまとめられています。また、その結果として、もし土砂災害が発生したら、体育館ではなく校舎の教室の方へ逃げるのが良いという非常に重要な提案をしています。さらに、水量の増加や水の濁り具合などの土砂災害の前兆もまとめたうえで、安全な避難経路を提案しています。

■審査員特別賞

どれも甲乙つけがたい素晴らしい作品です。子どもの目線で防災・防犯・交通安全それぞれのリスクを捉えられている作品や、公衆電話の使用など、自ら体験し学んだことを盛り込んで作成された作品がありました。ビジュアル面においても配色・レイアウトの工夫やイラストを取り入れた作品が数多くあり、表現力の高さが伝わってきます。いずれの作品も幅広い世代の多種多様な人々が安全に暮らせるようにという思いを込めて作成されたと評価しています。

■デジタルマップ特別賞

デジタルマップの募集は4回目を迎えます。内容は年々すばらくなっていますが、特にデジタルマップを構成するデータ数の増加から、それだけまちの中をしっかりと歩いていることがよくわかります。また、危険箇所の指摘だけでなく、改善提案も含めた作品になってきているとおもいます。デジタルマップは、比較的短時間で作成できるというメリットを持っており、今後も全国に広がっていくことを期待しています。



も ん ぶ か が く だ い じ ん し ょ う

文部科学大臣賞

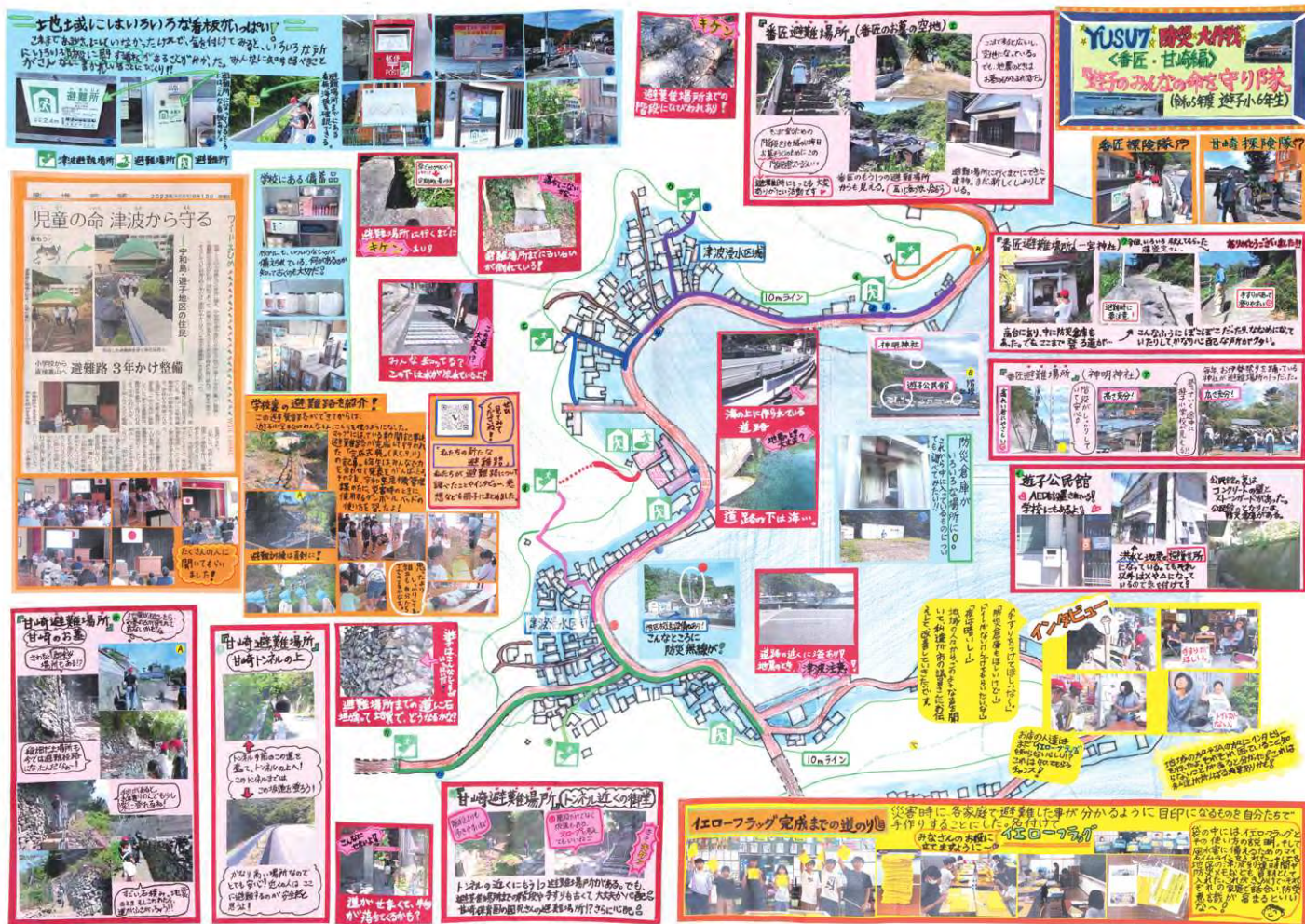
学年 6年生

人数 7人

分野 防災

え ひ め け ん う わ じ ま し り つ ゆ す し ょ う が っ こ う
愛媛県宇和島市立遊子小学校

「遊子のみんなの命を守り隊」



喜びの声

チームの児童のみなさん

フィールドワークで自分たちの地域について新たな発見があり、積み重ねてきた学習をマップにまとめることができました。パーツづくりやレイアウトなど大変だったけれど、地域の人に色々なことを知ってもらえると思うと達成感がありました。

指導された西原 睦美さん

子どもたちのがんばりに拍手!! マップづくりに協力いただいた方たちに感謝!! そして、防災学習の奥深さを感じ、「学ぶことは、当たり前前の方が当たり前ではなくること。だから、楽しいのだな。」と改めて実感しました。

審査員からのコメント

避難場所や避難経路を丁寧に調べて、
 段差や水路など危険性を心配するだけ
 でなく、スロープや手すりなど高齢者が
 避難しやすい工夫に気づいている。また、
 避難経路を整備している日頃の活動に目
 を向け安全を支える地域活動に感謝の言
 葉が書かれていることもすばらしい。
 今回2回目の防災マップづくりにも関わ
 らず、見通しをもって8時間で作成したこ
 とを評価したい。

その他の評価ポイント

- 災害時に避難済みであることが分かる
 目印として、イエローフラッグを考案・製
 作しただけでなく、各家庭に配布する際、
 防災意識の向上を目的として、風水害に
 備えるためのマイタイムラインや、地区
 の津波到達時間、防災メモなども同封し、
 子どもたち自らが発信している。
- 避難時に使用する段ボールベッドの使
 用方法を教わったり、実際に組み立て作
 業を体験したりすることで、避難時の
 対応について学んでいる様子が見えら
 える。
- インタビューを通じて地域の困りごとを
 知り、自分たちにできることは何かを考
 えている。さらには地域への働きかけも
 行っており、子どもたちの防災意識の向
 上が感じられる。

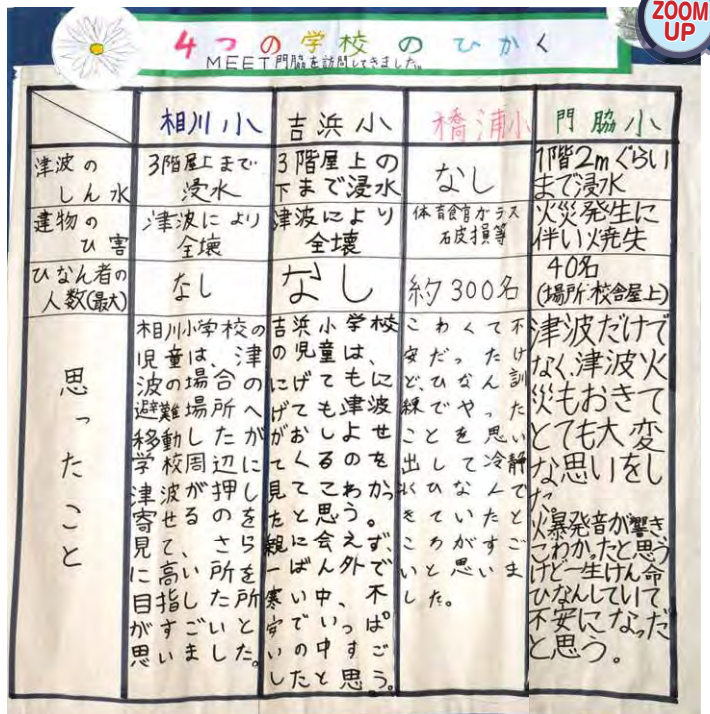
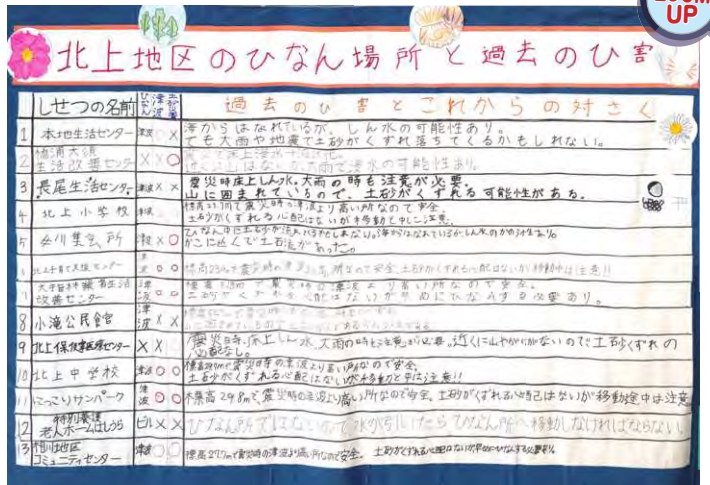


審査員からのコメント

本作品は、小学生らしい手作り感が強く出ていて、がんばっている様子がよく分かり、好感がもてた。その内容も、復興をテーマに、地区の避難場所や過去の災害経験を整理しているほか、複数の小学校の災害経験や避難状況を丁寧に分析するなど、マップを作成するにあたり、大変レベルの高い防災活動を展開している。ここまで取り組まれるのは、大変だったのではないかと思うが、今後は、このマップを活かして、地区防災計画づくりにも取り組んでいただきたい。

その他の評価ポイント

- インタビューで聞いたことをまとめるだけでなく、話を聞いたうえで、自身がどうしたいかについて考えており、まち探検を通じて、子どもたちが防災への理解を深めていることがうかがえる。
- 北上町全体の地図と学校周辺の地図の2種類を掲載することで、地域を俯瞰的に捉えている。また、透明シートを活用して「土砂災害想定域」と「津波浸水想定域」を色分けしており、災害のリスクを視覚的に表現した分かりやすいマップに仕上がっている。





しょうぼうちやうちやうかんしょう 消防庁長官賞

学年 4、5年生
人数 12人
分野 防災

わかやまけんありだぐんありだがわちやうりついしかきしょうがっこう 和歌山県有田郡有田川町立石垣小学校 ぼうさい いしかき こ 「防災たんけん石垣っ子」



よるこ こえ
喜びの声

チームの 児童のみなさん

こんなすごい賞をもらえることになり、うれしくて仕方がありませんでした。防災マップを作って、石垣地区には安全なところもあるけど、危険なところもあることがわかりました。自分の命を守るためにどうすればよいのか、ほかの人にも知ってもらいたいので、学んだことを知らせたいです。

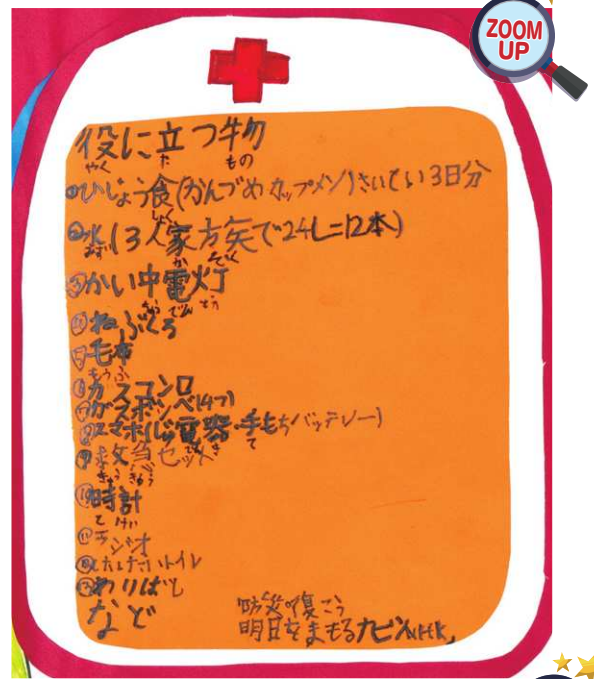
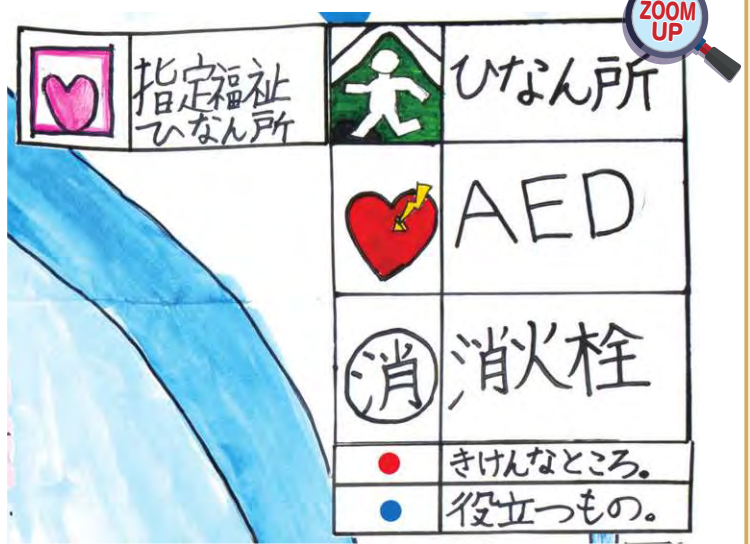
指導された 山田 沙紀さん

子どもたちが石垣地区にいるとき、また石垣地区以外の場所にいるときでも、自分の命を守れるようになることを願い、学習を進めました。マップづくりのなかで子どもたちのさまざまな思い、アイデア、がんばりが込められた作品になりました。子どもたちのがんばりを評価して下さったことを感謝しています。

審査員からのコメント

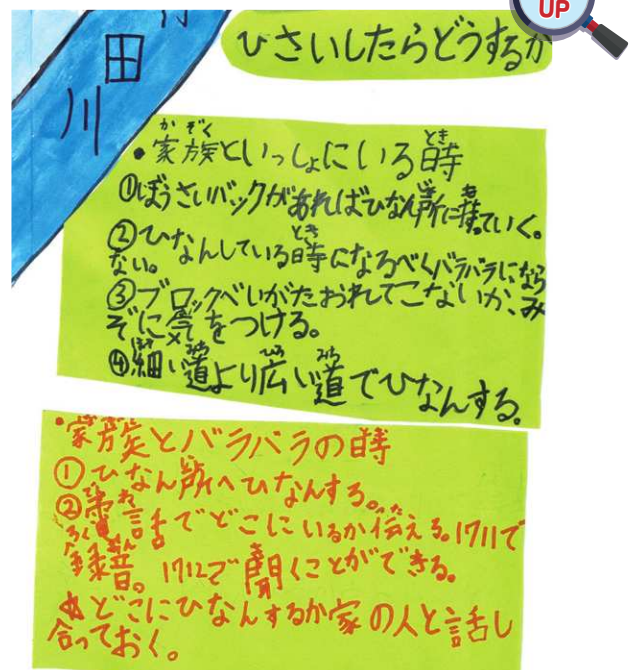
消火栓や防火水槽など消防活動するうえで
 大事な施設や、ブロック塀や溝などの危険な場
 所など、丁寧に調べ、写真とともに地図に落と
 し込んでおり、地域の防災に関する情報が非常
 に充実している。また、地区ごとに避難経路を
 色分けすることで、分かりやすくしようとする
 工夫もみられる。さらに、消防士の方から教え
 てもらった災害や避難に関する知識や注意事
 項、自分たちで調べた備蓄しておくべきものな
 ど、見聞きした情報を余すことなく盛り込んで
 おり、大変見ごたえのある作品となっている。

ぜひ、マップづくりを通じて学んだ知識や
 情報を、家族や学校の友達、近所の人、地域の
 人に広めていただき、身近な人たちを守るため
 に役立ててほしい。



その他の評価ポイント

- 被災時にどう行動するべきかについて、「家族といっしょにいる時」と「家族とバラバラの時」とに状況を分け、子どもたちの目線で対処方法を考えることができている。
- 大雨が降った際の危険な場所と安全な場所について付箋ごとに色分けし、何が危険か安全かを端的にまとめている。
- 「まとめ」や「役に立つ物」、「被災したらどうするか」などの文章によみがなを振っているため、大人も子どもも、マップの内容を正確に理解できるように工夫されている。





まちのぼうさいキッズ賞 しょう

にほん こくない い いんかいかいちょうしょう
(日本ユネスコ国内委員会会長賞)

学年 1～6年生

人数 41人

分野 防災

Kids Creation Afterschool

[Kids Creation Afterschool ぼうさい探検隊 たんけんたい]

外国人はこんなに大変!
 こんなに知らない!



地球沸騰化

水害対策どうする?こうする!

Water disaster Prevention for Foreigners

よるこ こえ
喜びの声

チームの 児童のみなさん

今回のマップづくりは、まずつくば市に「現状の防災の課題」を聞くとところから始まりました。地域の課題解決に何が必要なのか考え、市に提言することもできました。私たちの活動が評価されたことがとてもうれしいです。

指導された マクマーン 由香利さん

毎年^{まいとし}の防災学習を通して、つくば市とのつながりが深まり、子どもたちは一市民として自分たちに何ができるか考え行動できるようになっています。子どもたちの成長がとても誇らしく、二度目の受賞を大変光栄に思っております。

審査員からのコメント

多くの外国人が居住する地域にもかかわらず、ハザードマップが日本語版しかなく、アンケート調査の結果、外国人の防災に対する知識も備えも十分ではないことが分かった。そういった気づきを踏まえ、必要な防災情報を英語で併記しつつ、優しい日本語を用いてマップを作成した。これにより、外国人に、また、日本人にとっても分かりやすいマップとなっている。ぼうさい探検隊の活動を進めていく過程で、水害が起こったときに外国人が自分の身を自分で守れるようにするための取り組みを市に提言したことも高く評価できる。

今回のぼうさい探検隊としての活動を通じて学んだことを大切にするとともに、今後とも、異なる文化を持つ外国人の方々と一緒に暮らしていく意味や、防災についての学びを続けていきたい。

その他の評価ポイント

- インタビューや防災教室での気づきをもとに、多言語のハザードマップの作成・配布や災害時情報提供アプリの推奨などをつくば市へ提言している。また、市と共催して外国人向けの防災セミナーを開催するなど、子どもたち自身が行動し、地域に発信している様子が見える。
- 過去に作成した防災マップの提言により、今年、つくば市内の全ての標識がピクトグラムを取り入れた看板に一新された。それを踏まえ、今年のマップには防災標識のある施設の場所と説明が表記されており、分かりやすくまとめられている。

外国人の防災事情
Interview with foreigners about disaster prevention

つくば市のハザードマップを見たことがありますか? Have you ever seen the Hazard map of Tsukuba city?

備蓄をしていますか? Do you have Stock Piles?

ある1人 / いない14人

している2人 / 防災用品を買った / 'Disaster prevention Bag'

Oh no! たたひヒリ!

さっそく見てみよう! 日本語しかないの? Let's check it! Japanese only?

Oh no! たたひヒリ!

防災に関する情報が届いていないだけで、そもそも地震や防災をあまり知らない先生が心配になりました。

僕たちができることをやっ、このマップにまとめることにしました。

Do What We can to help foreigners!

この色は何? why is it colored?

「ひびんじょ」?? HINAN JYO?? 白でも安全じゃない?!

White zone is NOT safe either?!

つくば市に『提言』をしました!
The Proposal Tsukuba city

外国の方へのインタビューや防災教室での気づきから、外国の方が氷害の時に自分の身を自分で守れるようになるための取り組みを提言しました。

1. 多言語のハザードマップを作り、配布する。
2. つくば市が作成しているフック船長の防災動画に英語字幕をつける。
3. 災害時情報提供アプリ『Safety Tips』を推奨する。
4. 市報の多言語版があることを知って読んでもらえるよう工夫し、防災情報の伝達に活用する。
5. 外国人向け防災ワークショップを開催する。(私たちもお手伝いする)
6. つくば市内、小・中学校の児童生徒向け防災学習の授業に外国人の保護者を招待する。

つくば市危機管理課の方からは、「やらなければいけないのに、後回しにしていたことで耳が痛い。近いうちこハザードマップを更新する予定があるので、みんなからの提言を参考に英語の併記を前向きに検討したい」とコメントをいただきました。つくば市と共催で外国人向けの防災セミナーを開催することも決まり、12月末の開催に向けて準備をすすめています。

私たちの提言をここから見てください!

[URL] <https://www.youtube.com/watch?v=CX3S150zPE>

防災は自分の命を守ること
Disaster prevention is to Protect Yourself and your Loved Ones

私たちのスクールで『外国人のための防災教室』を開催したよ!
Disaster Prevention Lesson for foreigner at

地球沸騰化の時代から、水害への備え方を外国人 Teacher と一緒に学びました。毎日の生活でできることと災害時にすべきことを伝えたい。

Due to the era called global boiling, we learned what to prepare for everyday life and what to do in times of water disaster.

先生たちの感想~ Message from attendees~

何もしてなかったから 求はじあるわ! I will start stocking! Always!

命を守るアプリを勉強して今更だわ!! I will be safer with safety tips APP!

I didn't know there was a shelter that cannot be used in flood!



気象庁長官賞

こうちけん と さしりつはすいけしょうがっこう
高知県土佐市立蓮池小学校
 はすいけ たい
「蓮池はーす隊」

学年 5年生

人数 44人

分野 防災

蓮池防災MAP

みんなで 線状降水帯による洪水・土砂災害 自分達の地域は つなぐ命 自助 自助 自助 自分達で 守る!

蓮池地区のハザードマップ
 洪水・土砂

感想
 蓮池地区のハザードマップは、自分達の地域を守るために作られたものだと思います。自分達も、このマップを使って、地域の人たちに伝えていきたいです。

自助とは?
 自助とは、自分達自身で災害に備えることです。例えば、家族で防災訓練をしたり、防災グッズを揃えたりすることが自助です。

公助
 公助とは、自治体や学校などから支援を受けることです。例えば、避難所や防災倉庫を利用することが公助です。

共助
 共助とは、地域の人たちと協力して災害に備えることです。例えば、地域で防災マップを作ったり、防災訓練に参加したりすることが共助です。

蓮池地区のひなん所
 蓮池小学校
 蓮池公民館
 蓮池中学校

私達の提言
 防災マップを作ってみよう。地域の人たちと一緒に、自分達の地域を守るために、防災マップを作りたいです。

アンケートをしてみよう
 アンケートをしてみよう。地域の人たちに、自分達の地域でどんな災害が起きやすいのか、どんな対策が必要なのかを聞いてみたい。

危険箇所～洪水～

1	蓮池小学校
2	蓮池公民館
3	蓮池中学校
4	蓮池小学校
5	蓮池公民館
6	蓮池中学校

危険箇所～土砂～

1	蓮池小学校
2	蓮池公民館
3	蓮池中学校
4	蓮池小学校
5	蓮池公民館
6	蓮池中学校

喜びの声

チームの児童のみなさん

気象庁長官賞をいただき、うれしいです。今は、作成したマップをもとにマイタイムラインを作ります。今後、これらを地域の人たちに発信していき、地域での被害を減らしていけるようにしたいです。

指導された久本 さくらさん

素晴らしい賞をいただき、感謝の気持ちでいっぱいです。子どもたちは、自分たちの地域に起こる自然災害について調べ学習を進めていく中で、地域の一員として役に立つことのよさも学べたように思います。

審査員からのコメント

せんじょうこうすいたい おおあめ そうくう かん
線状降水帯による大雨に遭遇して感じた
じぶん す ちいき お
「自分の住む地域で起こったらどうなるのか？」
という疑問を大事にしているところが、まず
すばらしいと感じる。その疑問を起点に防災
マップを作成するだけでなく、地域の課題
をしめ じぶん たす だけではない、自分
たちが助ける側になるという意識を持って、
できる案を提言するところまで至っているこ
とが、選定を決めた大きな理由である。作成し
た防災マップも、調べたことを自助・共助・公
助で分けて整理するとともに、土砂と洪水で
わ しま け 分けて示すことで、見やすい形になっている。
また、過去と現在の航空写真を使って地域の
へんか しま け 変化を示していることも重要な情報であり、
これを盛り込んだ視点はすばらしいと感じる。
この分かりやすいマップを是非地域の皆さん
と共有して、みんなで地域を守るために何
ができるかということをもとに改めて考えるきっ
かけにしていきたい。

その他の評価ポイント

- マップに自分たちの地域の「災害危険」「メカニズム」「防災対策・避難のタイミング」などを盛り込んでおり、マップを見た人が水害対策に関する総合的な情報を得られるよう、分かりやすく作られている。
- 危険箇所を把握するため、専門家から話を聞き、自分たちで実態調査を行っている。さらに危険性の理由まで掲示していることから、深く学習していることがうかがえる。





キッズリスクアドバイザー賞

にほんそんがいはほけんだいいりぎょうきょうかいしょう
(日本損害保険代理業協会賞)

学年 4、6年生、年長

人数 3人

分野 防災・防犯・交通安全

おおにし おおにし 大西キッズ「大西キッズ2023」



よるこ こえ 喜びの声

チームの児童のみなさん

すごい賞を受賞できてうれしいです。まちには危険な箇所や、知らなかった安全への工夫がたくさんありました。一生懸命作ったマップを見てもらい、ぼくたちのだいすきな「ときわ」のことをみんなに知ってほしいです。

指導された大西 義紀さん

きょうだいで3年間取り組んだ成果です。危険箇所に加え、まちの工夫や設備、災害への備えなどをまとめました。子どもたちにとっては、さまざまな学びを得るとともに、地域を知ることによって郷土を好きになるきっかけになりました。

審査員からのコメント

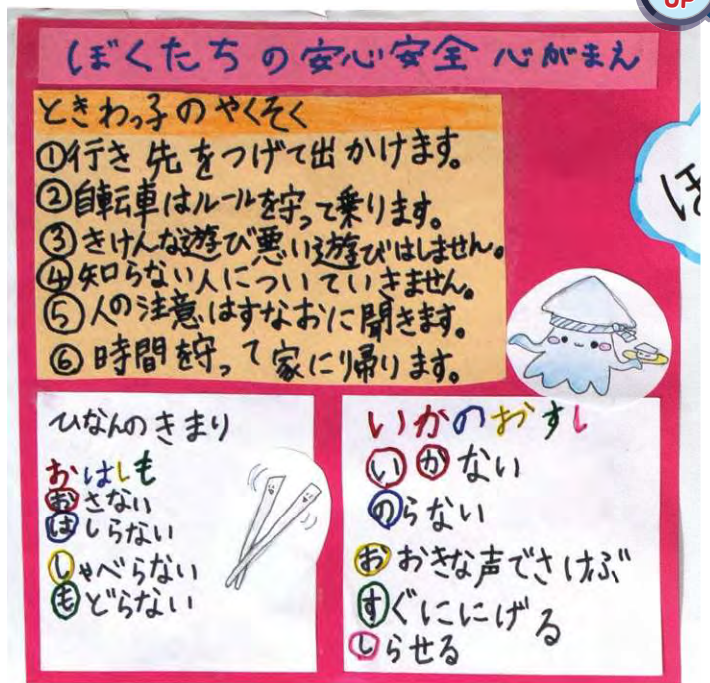
まちの中には、多くの人たちの安全を守るさまざまな工夫があり、地域の人たちが協力することで自分たちの安全が守られていることに気づき、安心・安全ツール(AED、公衆電話の位置、防災メールなど)や災害の備え(避難グッズなど)についての意識向上が図られていると感じた。また、これまでのまち歩きで気づいた危険箇所の改善状況が確認されており、地域の安心・安全に貢献している作品である。

自分たちの地域をまち歩きすることにより、防災・防犯・交通安全に対する意識が高くなったと思うので、作成したマップを町内で活用して防災・防犯・交通安全に貢献していただきたい。



その他の評価ポイント

- 生活に身近なコンビニエンスストアについて調べ、さまざまな防犯対策や安全性についての理解を深めている。
- 自分たちの約束事を決め、標語を使い、安心・安全に暮らすための心構えを覚えやすくするよう工夫している。
- ぼうさい探検隊専用タブレットで作成したデジタルマップのツールもうまく活用しながら、防災・防犯・交通安全の各分野の安全な場所、危険な場所を分かりやすくまとめ、地域の特徴が一目で分かるマップに仕上がっている。





未来へのまちづくり賞

あさひしんぶんしゃしょう
(朝日新聞社賞)

ちばけんあさひしりつちゅうわしょうがっこう
千葉県旭市立中和小学校
 ちゅうわしょうがっこう ねんくみ
「中和小学校4年1組」

学年 4年生
 人数 7人
 分野 防災

喜びの声

チームの児童のみなさん

がんばって作った防災マップが入ってうれしかったです。みんなで拍手をして喜び合いました。これからも防災について学んでいきたいです。マップづくりに協力していただいた皆さま、ありがとうございました。

指導された 宮本 智史さん

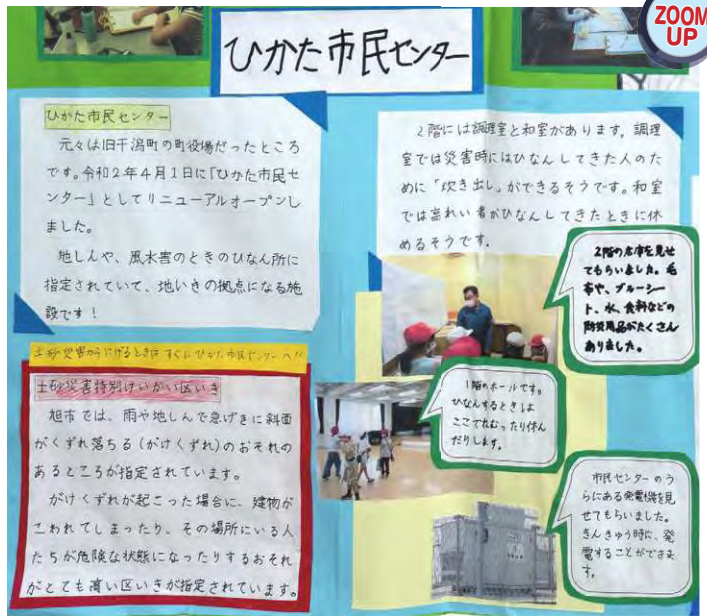
4月から学習してきた、防災や安全に関する児童の取り組みのまとめが、最高の結果となりました。4年生は全員で7人ですが、7人だからこそ、みんなで分担したり、協力したりして、防災マップを作ることができました。

審査員からのコメント

土砂災害警戒区域の傾斜地と、洪水時に浸水の恐れがある水田地帯という、地域の災害リスクの特性をしっかりとらえ、焦点が絞り込まれた分かりやすいマップとなった。児童が学ぶ小学校の校舎は山沿いで土砂流入の危険があり、災害時の避難先は旧町役場のひかた市民センターであることを強調している。9月に台風18号が接近して大雨警報が出た際の経験を紹介し、災害を自分ごととしてとらえる姿勢がうかがえる。地域に多いため池に、洪水の危険があることを押さえるだけでなく、さらに湖を干拓して水田にしたという地域の歴史にも視野を広げている。マップづくりを通じて地域についての学びを深めた点を高く評価したい。

その他の評価ポイント

- 防災マップを作成する目的を考え、地域の特性を詳しく調べ、地域の人にインタビューを行い、最終的には安全な避難先を提案しており、高い教育効果が得られたものと推察される。
- 避難場所だけでなく、写真とともに住所と電話番号も記載しているため、有益な情報が分かりやすくまとめられている。
- 土砂災害特別警戒区域と洪水浸水想定区域を、色違いのセロハンで表現し、リスク箇所がすぐに分かるようになっている。その効果として、両視点から防災対策の重要性を明確に伝えている。



9月8日 台風13号接近により...

登校を終えて午前8時すぎに旭市に大雨のけいほうが発表されました。9時前、今度は「土砂災害けいがいレベル3」が出され、これにより、「ひかた市民センターへのひなんと保ご者への引き渡し」となりました。引き渡し待機中には「土砂災害けいがいレベル4（ひなん指示）」の防災無線が流れました。その後、みんな無事に帰ることができました。日頃のひなん訓練がいざという時の支えになることがわかりました。

土石くずれが起きそうでこわかったです。訓練の大切さがわかりました。





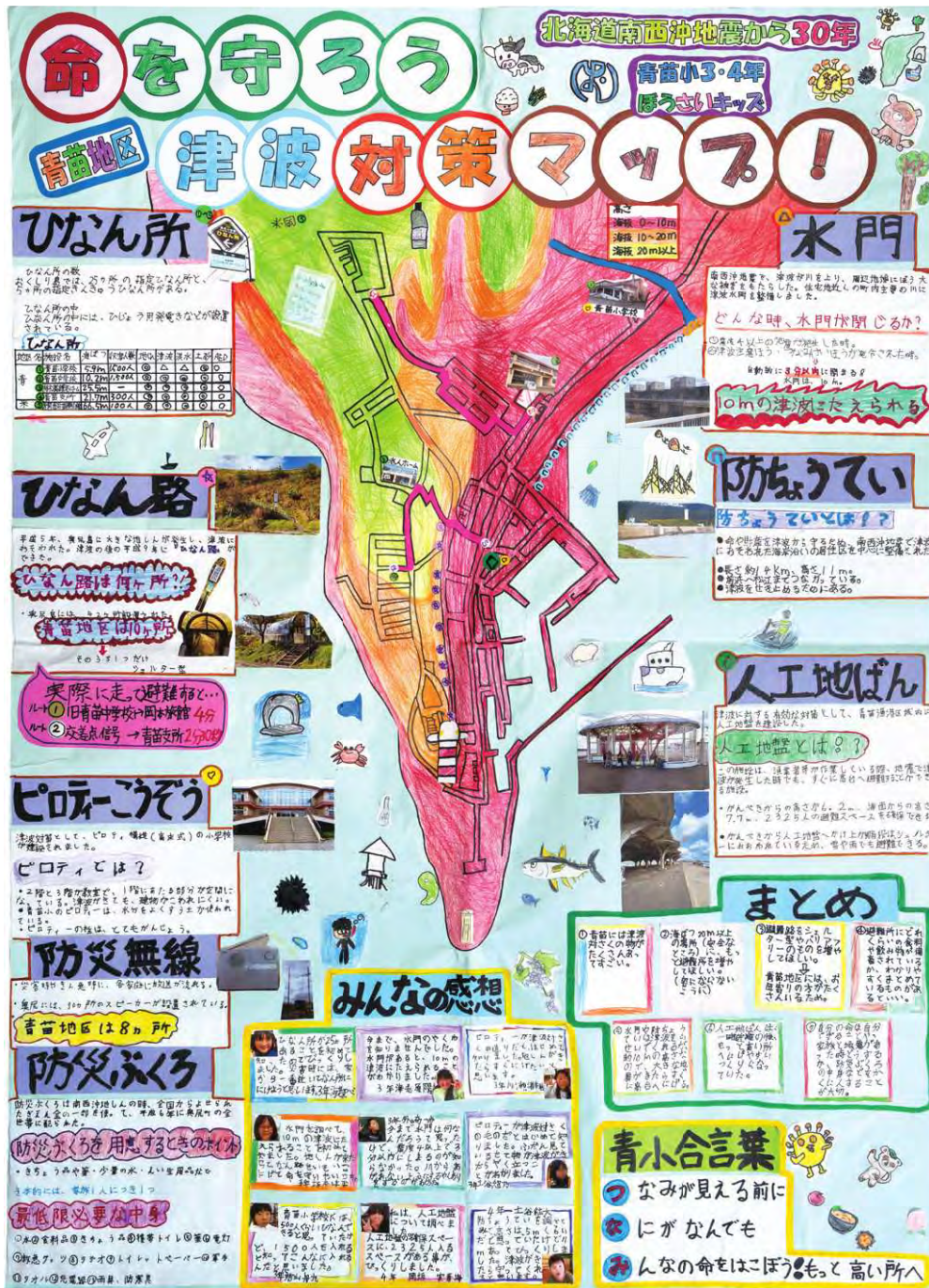
わがまち再発見賞

さいはっけんしょう
にほんさいがいきゅうえん
(日本災害救援ボランティアネットワーク賞)

ほっかいどうおくしりちょうりつあおなえしょうがっこう
北海道奥尻町立青苗小学校

あおなえしょう ねん
「青苗小3・4年ぼうさいキッズ」

学年 3,4年生
人数 9人
分野 防災



よるこ こえ
喜びの声

チームの 児童のみなさん

みんなで一生懸命作ったマップ
が入賞できてとてもうれしい
です。マップを作って青苗の
ぼうさいしせつ
防災施設のことがよく分かり
ました。これからも防災施設を
たいせつ
大切に、自分の命をしっかりと
まも
り守れるようにしていきたい
です。

指導された まつばら ともみ 松原 知未さん

ほっかいどうなんせいおきじしん
北海道南西沖地震から30年。今
かい
回は、いつも身近にある地域の
ぼうさいしせつ
防災施設のことを調べてマップ
にしました。調査・作成の過程で
は、子どもたちのいろいろな
き
気づきを取り上げ、工夫してマップに
はんえい
とあ くふう
反映できるよう進めました。

審査員からのコメント

地域への関心・愛着を感じさせる作品である。大きな災害に遭った地域も、時間が経てば、残念ながら、その経験や記憶が風化してしまいかねないが、この作品には、被災した記憶と経験を決して風化させないとの強い思いが込められているように感じられる。過去の災害から整備されたさまざまな施設を探検し、そのときの支援をもとに準備された防災ぶくろについてしっかり考えている。

地域で風化させないための伝承が確実に行われていることが伝わってくるととても力強い作品になっている。

その他の評価ポイント

- まち探検を通じて、避難所の収容能力不足の問題などに気づき、そのうえで、避難所の増設や、避難路のバリアフリー化など具体的な提案を行っている。
- 津波避難時の行動について、オリジナルの合言葉を作成し、注意喚起を行っている。
- 避難時を想定し、実際に避難所までの到着時間を走って計測するなど、調査が行き届いている。また、地図全体を海拔の高さによって色分けすることで、視覚的に危険性を分かりやすく示している。

防災ぶくろ

防災ぶくろは南西沖地しんの時、全国からよせられたぎえん金の一部を使って、平成6年に奥尻町の全世帯に配られた。

防災ぶくろを用意するときのポイント

- ・ きちょう品や薬・少量の水・えい生用品など
- 基本的には、家族1人につき1つ

最低限必要な中身

- ①水
- ②食料品
- ③きちょう品
- ④携帯トイレ
- ⑤薬
- ⑥電灯
- ⑦救急グッズ
- ⑧ラジオ
- ⑨トイレットペーパー
- ⑩軍手
- ⑪タオル
- ⑫充電器
- ⑬雨具、防寒具

みんなの感想

みんなの感想を寄せたパネル。各感想には写真が添えられている。

- 「みんな所が25か所あることを初めて知りました。災害時には、家が1番近い避難所に行かなくてはなりません。3年津波」
- 「今まで、水門のやくかを知りませんでした。水門があるとし、10mの津波にたえらるるんがわりました。3年津波」
- 「ピロティが津波にさくの道りだとはじめて知りました。はだん見ていると物が津波がきたらやく立つとがわりました。3年谷悠乃」
- 「水門を調べて、10mの津波にたえらるることを初めて知りました。地しんが来たらちかになんか命をうけたいので、津波はな」
- 「3年外、奇一、今まで水門は何だろって思、けど、震度4以上で三分以内に止まるのが知らなかった。川からあがらないよ、おれりをするのがわりました。」
- 「青苗小学校は、500人くらいいなんてさると思、ていたけど、1500人も入れると、あんなに大んだと思、ました。3年津波山丸」
- 「私は、人工地盤について調べました。人工地盤の確保スペースに、2325人入るスペースがある事が、びっくりしました。4年 岡坂 実真海」
- 「4年一土谷結大 防ちうていを調べてみて、さは5mくらいだと思、ていたけど、1mあてて、くりしましたら、中、つ、く、た、ら、ん、と、思、います。」

青小合言葉

つ なみが見える前に
な にガ なんでも
み んなの命をはこぼう!もっ と高い所へ



たんけんたいしょう ぼうさい探検隊賞

にほんそんがいほけんきょうかいしょう
(日本損害保険協会賞)

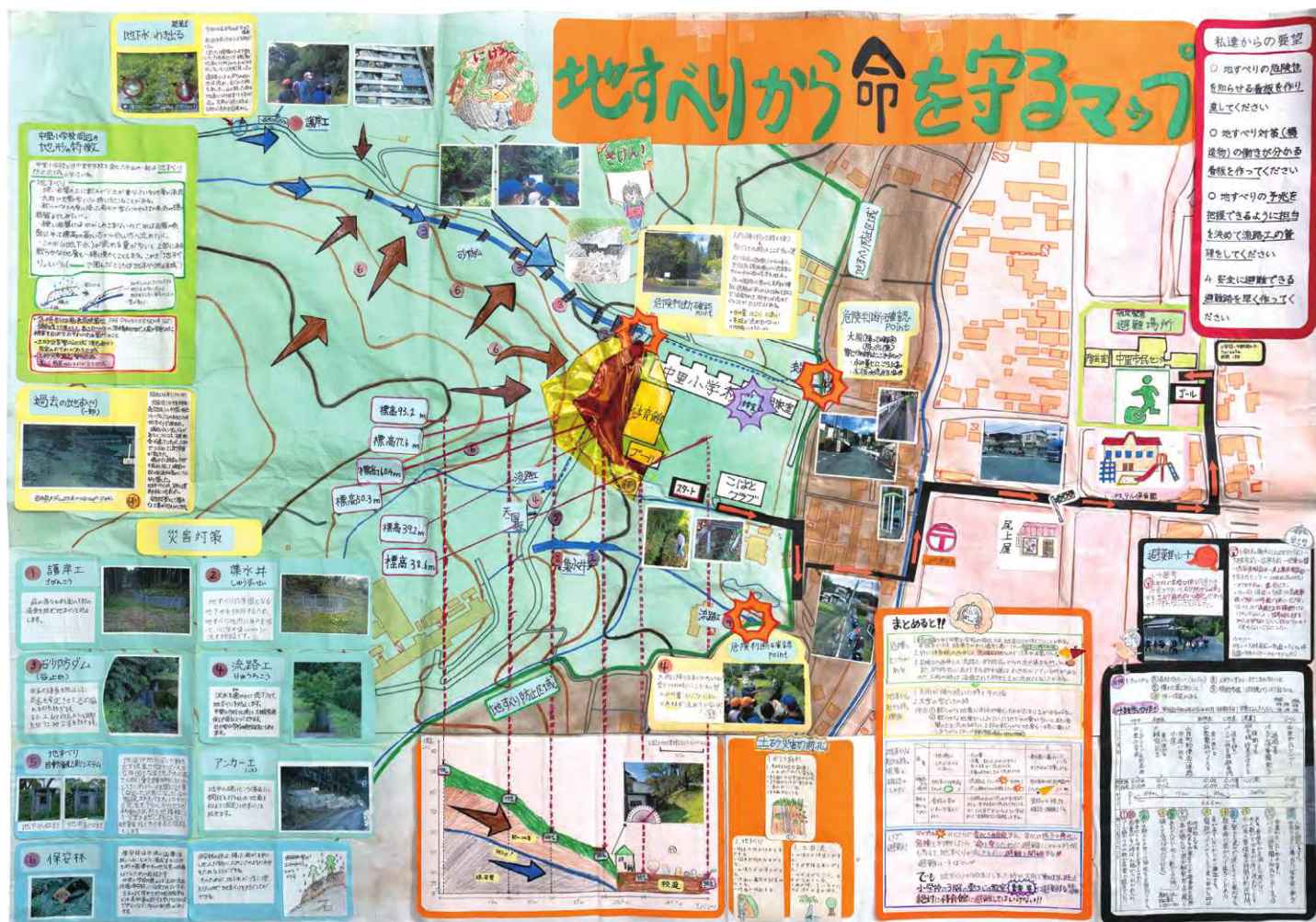
学年 4～6年生

人数 23人

分野 防災

なかさとほうかごこ きょうしつ
中里放課後子ども教室

なかさとほうかごこ きょうしつ
「中里放課後子ども教室」



よろこ 喜びの声

じどう チームの児童のみなさん

ちいき かた どしやさいがい きけん し おも
地域の方に土砂災害の危険を知ってほしいという思
いを含めて、力を合わせて作ったマップを認めていた
だけたことがうれしいです。これからも あんぜん ひ
難するために学んだことをたくさんの方に伝えてい
きたいです。

しどう 指導された さいとう ひろみ 齊藤 裕美さん

こ どもたちは ちいきたんけん から マップ完成まで積極的で
した。特に、疑問点があればマップ作成途中であっ
ても、何度も流路工や急傾斜地崩壊危険箇所などに
でむ なつとく からだ かん すた たの
出向き、納得するまで身体で感じようとした姿は頼
もしかったです。

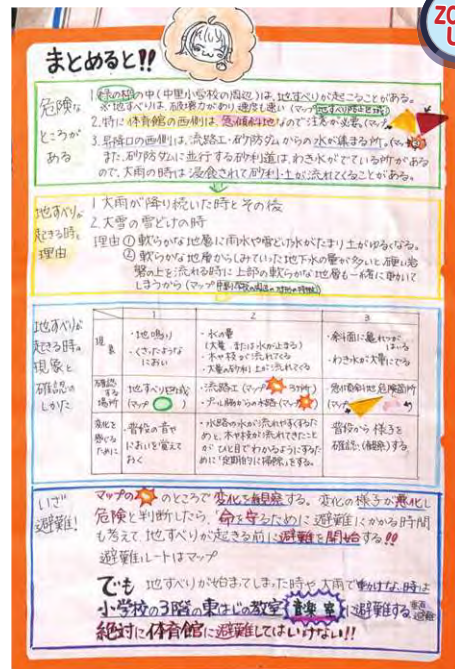
審査員からのコメント

近年の地球温暖化の影響で大雨による災害が各地で増加している中、「地すべり」にフォーカスしている作品である。身近な地域を歩いて危険な場所を調べたり、地すべりが起こるメカニズムや災害対策の施設について学習したことをしっかりとまとめられている。特に、学校内で避難すべき場所や避難すべきでない場所を明確にしている点や、気付いたことを「私たちからの要望」としてまとめている点が素晴らしいと感じた。マップ自体もシンプルで分かりやすいものになっている。

今後は同じ地域で異なる危険(水害、防犯、交通など)についても調べることで、多様な角度から地域のリスクを発見し、さらなる地域防災などにつなげられることを期待する。

その他の評価ポイント

- 大雨が降った際に気を付けるべき点を水の量や色、木枝が流れていないかなど「危険判断確認 POINT」としてまとめており、マップを通じて注意喚起をしている。
- 等高線や断面図などを交えて分かりやすくイラストで表現しているため、その場の具体的な状況が想像できるようになっている。
- 山やダムの様子をイラストや写真で示しつつ、地すべりと水の流れを色分けした矢印で示すことで、危険な場所を視覚的に見やすくしている。まさに、子どもたちの「地すべりから命を守りたい」という気持ちがマップから伝わってくる。



私達からの要望

- 地すべりの危険性を知らせる看板を作り直してください
- 地すべり対策(構造物)の動きが分かる看板を作ってください
- 地すべりの予兆を把握できるように担当を決めて流路工の管理をしてください
- 4 安全に避難できる避難路を早く作ってください





そう ま し りつなかむらだいに しょうがっこうほう か ご じ どう
相馬市立中村第二小学校放課後児童クラブ いるかクラブ「いるか探検隊」 たんけんたい



ひょうか 評価されたポイント

- 防犯ブザーの音が聞こえる範囲の確認、監視カメラや防犯連絡所の場所などを細かく調べ、さらに“ながら防犯”も提案しており、日常生活における小さな変化や危険に気づく防犯意識の醸成が図られている。また、日頃からの地域とのつながりを活かして地域全体で防犯に取り組みたいという思いが込められた作品であることがうかがえる。
- インタビュー、アンケートや提言ごとに見出しをつけてマップにまとめていることで、分かりやすく仕上がっている。

よろこ 喜びの声

チームの児童のみなさん
初めての挑戦で審査員特別賞を受賞できて、とてもうれしいです。このマップを通して学校のみならず地域の人も、防犯についてもっと知ってもらいたいです。

指導された 庄司 康子さん
素晴らしい賞をありがとうございます。自分で自分を守るための手段や危険箇所を確認できたことは、貴重な体験になりました。地域の方々、保護者の皆さまのご協力に感謝いたします。



ふくしまけんそう ま し か わらまち じ どう
福島県相馬市川原町児童センター みつばち防災探検隊「みつばち防災探検隊」 ぼうさいたんけんたい



ひょうか 評価されたポイント

- 災害伝言ダイヤルの活用、公衆電話の使い方や被災地外を通じた“三角連絡法”などについて学び、その重要性を子どもの視点でマップ上に表現できている。
- 消防署員と一緒にまち探検をして、地域の具体的な危険性や災害発生時に子どもたちだけでいる場合の対応方法などのレクチャーを受けたことで、災害発生時における身の守り方に対する知識や理解を深めたことがうかがえる。

よろこ 喜びの声

チームの児童のみなさん
みんなでがんばったマップが特別賞をもらえてとてもうれしかったです。このマップをほかの友達にも見てもらって自分の命を守ることの大切さを知ってもらいたいです。

指導された 藤巻 真理さん

このような素晴らしい賞をいただきましてありがとうございます。まち探検で子どもたちは自分の身を守る方法を学ぶことができました。このマップを地域の方たちにも見ていただき防災意識を高めていけたらと思います。



学年 4～6年生 人数 14人 分野 防災

せいぶ こ こうみんかんほう か ご じ どう ぼうさいたんけんたい
西部子ども公民館放課後児童クラブ こすもすクラブ「こすもす防災探検隊」



ひょうか
評価されたポイント

- 世代間交流をきっかけに、「災害発生時に自分たちが高齢者に対してできる支援」に焦点を当てている。市役所にインタビューをし、高齢者の疑似体験を実施するなど、災害発生時における高齢者への配慮について学んだことを分かりやすくまとめている。
- 高齢者の多い地域であることを踏まえ、単身高齢世帯などに対して自分たちができることとして、コミュニケーションによる支援を提言しており、高い教育効果がうかがえる。

よろこ
喜びの声

じどう
チームの児童のみなさん

入賞できてうれしかったです。このマップづくりで学んだことを活かし、災害が起きたとき地域の方に手を差し伸べることができるようにがんばりたいと思います。

しどう わだ
指導された 和田 しおりさん

素晴らしい賞をいただきありがとうございます。マップづくりを通して子どもたちがお年寄りを敬う優しい心が芽生えました。今後も防災に関心を持ち伝統的なマップづくりを続けていきたいと思っています。



学年 4年生 人数 23人 分野 防災

ふく い けん お ば ま し り つ う ん び ん し ょ う が っ こ う く も
福井県小浜市立雲浜小学校「チーム4雲」



ひょうか
評価されたポイント

- 海と川と共に生きる地域で、水害の危険性がある一方、湧き水が多いという地域特性を理解し、小浜市役所の地域防災課に「防災井戸」の設置およびハザードマップへの掲載を提案しており、多面的な視点で学習したことがうかがえる。
- 1年生の歩行速度(3分間150メートル)を基準に、最寄りの避難所までの歩行時間を色分けしているほか、一部の建物を立体化して表現したり、QRコードを活用したりすることで、情報を分かりやすく伝える工夫がなされている。

よろこ
喜びの声

じどう
チームの児童のみなさん

素晴らしい賞をいただき、ありがとうございます。良かった点は、避難時間を歩いて測ったり、地域の方から、水害の歴史を教えてもらったことです。マップでは、小さい子が分かるよう、立体化したり、QRコードで、校区の危険な場所を見ることができるようになりました。協力して活動できて良かったです。

しどう まさき たかひろ
指導された 正木 啓敬さん

素晴らしい賞をいただき、感謝いたします。防災フィールドワークでは、校区の危険な場所を見たり、水害に立ち向かった先人の労苦を、体験活動を通して学びました。製作では、タブレット端末を活用することで、より多くの情報を、瞬時に伝達する方法を学びました。子どもたちは、防災を自分ごととして捉え、主体的に学ぶ態度が身に付きました。ありがとうございました。



え ひめけん あいなん ちやうりつ かしかしやう がっこう かしわ
愛媛県愛南町立柏小学校「柏じまんチーム」



ひやう か
評価されたポイント

- 国土交通省四国地方整備局大洲河川国道事務所の協力を得て、高速道路やトンネルの工事現場を実際に見学し、災害発生時における重機やドローンの活用や避難場所としてのトンネルの活用などを独自の視点で提案している。また、既存の避難ルートが河川の側を通ることから豪雨時の避難の危険性を指摘し、避難ルートの変更なども提案しており、子どもたちの学習の深さがうかがえる。
- 地域住民やそこで働く関係者と助け合うことの重要性を学んだことで、子どもたちの意識の変化を読み取ることができる。

よろこ へえ
喜びの声

じどう
チームの児童のみなさん

がっこう ちいき さいがいじ そな かんが こうそくどうろ こうじげん ば
学校・地域の災害時の備えについて考えたり、高速道路工事現場の
けんがく もと いけんこうかんかい おこな ぼうさい まな ふか
見学を基に意見交換会を行ったりして、防災についての学びを深め
ることができました。今後も地域の一員として、柏の安全・安心に
かんが
ついて考えます。

しどう おくの ちひろ
指導された奥野 千尋さん

じどう おも う と こうそくどうろ こうじげん ぼけんがく いけんこうかんかい
児童の思いを受け止め、高速道路の工事現場見学や意見交換会など
じつげん ことごとくつしやう ちやうないがい かんけい 機
を実現していただいた国土交通省をはじめとする、町内外の関係機
かん みな りかい きやうりく ぼうさいがくしやう かんしゃ き
関の皆さまのご理解とご協力があったので防災学習でした。感謝の気
もちでいっぱいです。



え ひめけん あいなん ちやうりつ かしかしやう がっこう
愛媛県愛南町立柏小学校「チームZAKI」



ひやう か
評価されたポイント

- 津波や高潮、土砂災害からみんなの命を守りたいという思いから、避難時に結んで避難したことを周囲に知らせる「命の黄色いリボン」のほか、夜間の避難を想定したソーラー街灯の設置や定期的な避難路の管理の必要性など、安全かつ効率的に避難するための具体的な提案がマップに盛り込まれており、学習の深さがうかがえる。
- 防災倉庫の維持・活用・使用方法や災害発生時の車利用は1台のみという地区独自の避難時ルールのほか、地域住民へのヒアリングとおして自主防災組織の活動内容を知り、地域特性を把握したうえでマップを作成している。

よろこ へえ
喜びの声

じどう
チームの児童のみなさん

じぶん す ちく し じぶん かんが じつ
自分たちの住んでいる地区のすごさを知ることができたし、自分の考えたことや実
ちいき ひと よろこ
践したことが、地域の人に喜んでもらえたことが、すごくうれしかったです。これか
らちいき いちいん
らも、地域の一員としてがんばりたいです。

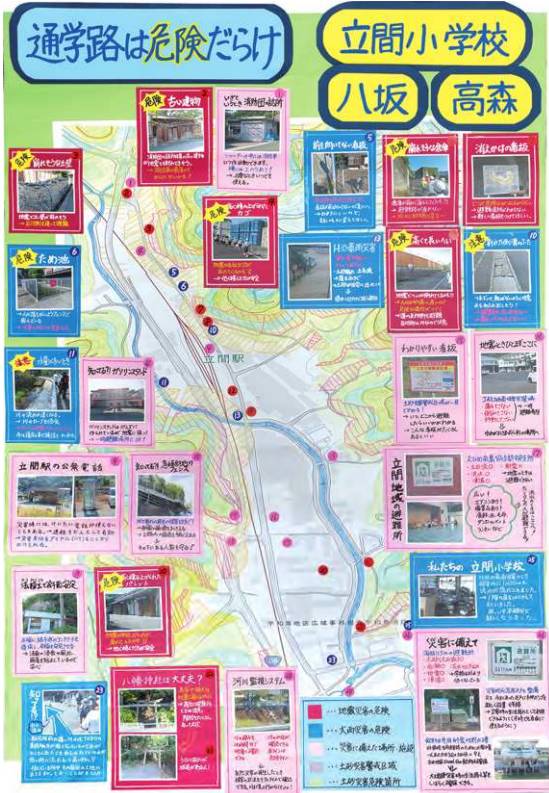
しどう まえだ かずみ
指導された前田 和美さん

かしわさき ちく じやうみん いったい ぼうさい げんさい と く
柏崎地区の住民が、一体となって防災・減災に取り組んでいることを知り、「地域の
いちいん じぶん かんが ひとり もくもく と く
一員」として、自分にもできることはないかと考え、一人になっても黙々と取り組ん
だじどう じどうしや ぼこ おも
だ児童を、指導者として誇らしく思っています。



学年 3~5年生 人数 5人 分野 防災

えひめけん う わじましりつたち ましょうがっこう やさか たかもり
愛媛県宇和島市立立間小学校「八坂・高森」



ひょうか 評価されたポイント

市役所の方々と一緒にまち探検を行い、その中で発見した古い看板や歩きにくい場所・避難しにくい場所などの修繕を要望している。また、平成30年の豪雨災害の体験を踏まえた洪水、土砂災害などの危険箇所をマップにまとめられている。

山間部にあるという地域特性を踏まえ、河川や土砂災害の危険性を色分けや等高線などを用いて分かりやすく表現している。

よろこ 喜ぶの声

チームの児童のみなさん
時間をかけてパーツを作って大変だったけれど、入賞できてとてもうれしいです。学習発表会で発表したことで、県の人に修理してもらったところもあり、地域のためにもなってよかったです。

指導された 竹田 聡美さん・河野 理恵さん
すばらしい賞を受賞でき光栄です。関係機関の方と一緒にまち探検をし、つがる きげんかしょ 通学路の危険箇所だけでなく良いところも再発見することができました。たくさんの方のおかげで、仕上げることができました。



学年 2~4, 6年生 人数 6人 分野 防犯・交通安全

がくどうおおにし まも たい
にこにこ学童大西クラブ「えがおを守るたんけん隊」



ひょうか 評価されたポイント

まち探検を通して、入り組んだ道路や保育園や福祉施設などの周囲の交通量を子どもの視点で再確認し、交通安全に対する意識や命の大切さを学んだことがうかがえる。

アイコンを使って実際に交通事故が発生した地点や件数を示したり、地域の人々へのアンケート結果を円グラフで整理したりするなど、視覚的な工夫がなされている。読み手に伝わりやすいマップに仕上がっており、命の大切さを「伝えたい」という思いが強く感じられる。

よろこ 喜ぶの声

チームの児童のみなさん
初めてマップをつくるため名護警察署で交通事故の状況を聞きました。まわりで事故がたくさんあることが分かり、地域の人にもアンケートを取って防犯マップをつくり受賞できたのでうれしいです。ありがとうございました。

指導された 伊藤 康司さん・比嘉 敦子さん
夏休みを使って、地域をみんなで点検して作った防犯マップを評価していただき大きな賞をいただけることを大変うれしく思います。地域の安全と安心を考えて調べてみないと気づかなかったことがとても勉強になりました。

デジタルマップ特別賞

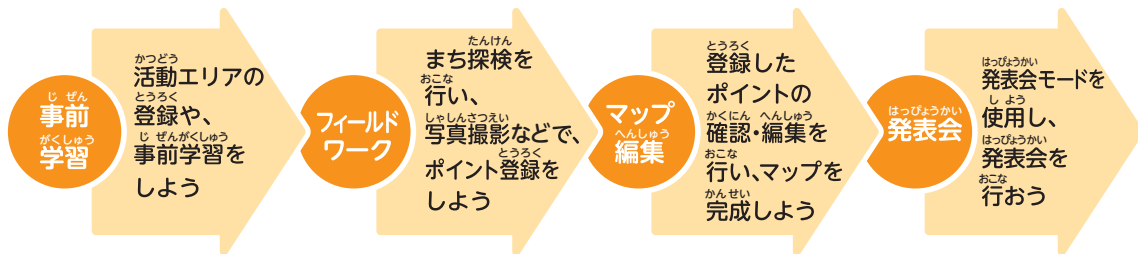


「デジタルマップ特別賞」とは
日本損害保険協会が無償で貸し出している「まち探検アプリ」搭載のタブレット端末を、児童が使って探検・マップづくりした作品のなかから、審査によって選出した賞です。

「まち探検アプリ」とは
ふだん歩く通学路や避難場所への経路など、道路上の危険な所・安全な所を調べ、タブレットに写真やアイコンをワンタッチで登録できるほか、タブレットには「事前学習の手引き」が搭載されており、簡単に学習ができるようになっています。

マップ作成手順

完成!!



学年 1、3、4、6年生 人数 5人 分野 防災
かながわけんだい だん
ガールスカウト 神奈川県第53団「GS KANAGAWA 53」



評価されたポイント

- 災害時の避難経路にあたる道路の亀裂や道幅の狭さ、商店の商品棚などにおける危険性を子どもの視点で細かく確認しており、改善案まで提案できている。
- 防災施設で体験学習を行い、実際の災害時を想像、理解したうえでまち探検をしたことで、防災の観点を踏まえて地域を再確認できている。子どもたちの防災意識が高まったことがうかがえる。さらに、高層マンションなどの集合住宅がひしめく地域ならではの災害の危険性について気づき、防災マップに盛り込んでいる。

喜びの声

チームの児童のみなさん
高層の建物のあるまちで災害が起きたら…というテーマでマップを作りたいと考え、大地震を想定してまち歩きをしました。「〇〇は危険。だから△△が大切。」と考えるのが大変でしたが、受賞できてとてもうれしいです。

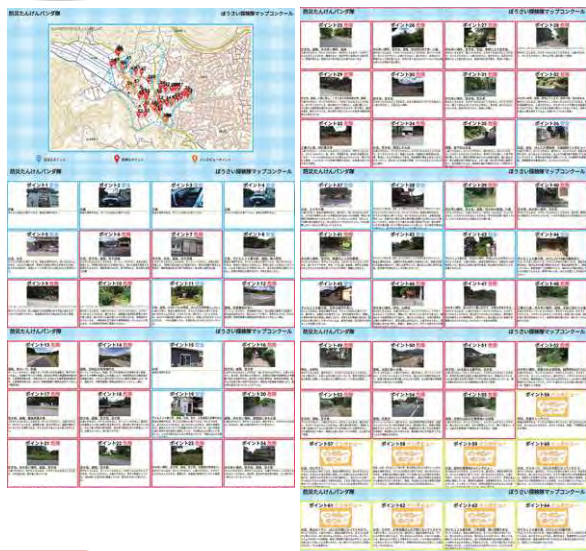
指導された仲戸川 美雪さん

限られた画像と文章で作られるデジタルマップで評価いただけたことは大変喜ばしいことです。日頃から災害時を想定することや自分に何ができるかを考えるなど、子ども目線の防災減災の力が備わることも期待したいです。



いけしょうがくどう 池小学童クラブ サニーサイド「防犯たんけんパンダ隊」

学年 4年生 人数 2人 分野 防犯



評価されたポイント

- 「パンダ110番」のマップ化や指定の家へのインタビューを通じ、以前と状況が変わっている家があることを把握するなど、時代や環境の変化を防災や防犯上の課題として捉えられている。さらには、実際に駆け込みやすいと感じたお店などに新規に依頼し、許可を得られたところをPTAに提案している。
- 市街地と隣り合わせ、かつ田畑や山間部が隣接し、高齢者も多いという地域特性を理解したうえでマップを作成している。また、昼と夜のまちの様子の違いにも気づき、夜間における街灯の必要性などにも問題意識を持つことができている。さらに、市街地以外の道路、水田、山肌などの危険性についても地域の方にインタビューを行い、マップに反映している。

喜びの声

チームの児童のみなさん

安全と思っていた地域は調査すると危険な場所が多くパンダ110番の家の減少に驚きました。新たな駆け込み先をPTAに提案でき、私たちの自信と安全につながりました。僕たちは防犯マップを作成して良かったと思いました。

指導された 竹内 こそえさん・池上 協子さん

児童をはじめ一同で喜びを分かち合いました。この度の探究心を育む発展的活動が地域貢献への動機となり行政への提案に至った経験は児童の大きな成長につながりました。準備や取材でご協力いただいた皆さまに感謝申し上げます。



日本ボーイスカウト奈良県連盟 大和郡山第1団カブスカウト隊「いつもげんき! 1組」

学年 3~5年生 人数 7人 分野 交通安全



評価されたポイント

- 古くから城下町として栄え、その名残から今なお、まちなかの道路は狭く、車も人も通行しにくいという日頃から感じていることに着目し、城下町の道路の特性をよく掴みながらまち探検ができている。
- 側溝が多い道路での転落・転倒の危険性やグレーチングのガタつき、幹線道路以外の狭い道のリスクなどに気づき、子どもたちの視点でマップ化し、危険箇所の改善まで提案している。一方で、危険箇所だけでなく点字ブロックやカーブミラー、歩道の色分けなどにも気づき、安全な道路の存在にも目を向けられていることから、しっかりと調査した様子がうかがえる。

喜びの声

チームの児童のみなさん

受賞できともうれしいです。ふだん、車で通っている道を実際に歩いて、安全なところや危険なところなどたくさんの発見がありました。また、タブレットを使って探検できたことがとてもおもしろかったし、写真をたくさん撮ってそれにコメントを考えるのも楽しかったです。

指導された 関 彩里さん

子どもたちが実際に歩くことによって、大人とは違った子どもの視点で安全な場所や危険な場所を見つけていくことができました。探検途中に立ち寄った交番の方々もお忙しい中、子どもたちとお話をしてくださり感謝いたします。



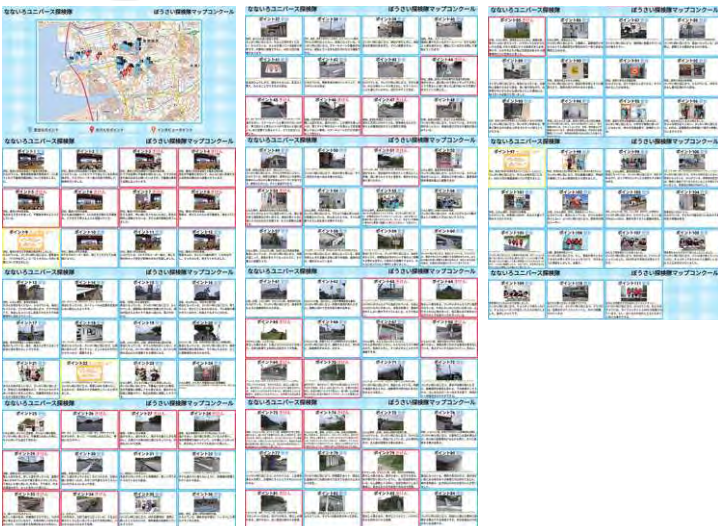
学年 3、4年生

人数 4人

分野 防災・防犯・交通安全



おきなわけん と みぐくし じどう たんけんたい 沖縄県豊見城市なないろ児童クラブ「なないろユニバース探検隊」



ひょうか 評価されたポイント

- 台風6号の被害状況を見て、通学路や避難経路での土砂災害の危険性を認識し、マップに反映している。また、海拔の低い地域の学校には津波用のライフジャケットが配置されていることから、着用訓練の推進などの実践的な学習を提案している。さらに、自分たちも実際にライフジャケットの着用訓練を行い、正しい着用法や浮き方など実践的に学べたことがうかがえる。
- 海に近いという地域特性を認識したうえで、津波だけでなく川の氾濫や土砂による堰き止めなどに対して、詳細な気づきや具体的な提案があり、子どもたち同士で活発に意見が交わされたことがうかがえる。

よろこ 喜びの声

じどう チームの児童のみなさん

じゅうじょう
受賞したと聞いてとてもうれしかったです。マップ制作中に沖縄を直撃した台風の後も調査しました。災害が起きそうな地域の特徴や危険と、安全についての伝え方を仲間とたくさん考えました。このマップが大切な人の命を守ることに繋がってほしいです。

しどう 指導された 金城 有希さん

しどう 金城 有希さん
地域の方々のご協力の中、子どもたちは多くの情報を学び防災についての理解を深めることができました。命を守る行動の仕方を考え、まとめ、伝えることでクラブ全体の防災意識の向上と学習意欲の高まりを感じました。子どもたちのがんばりが受賞という素晴らしい結果につながり大変うれしく思います。

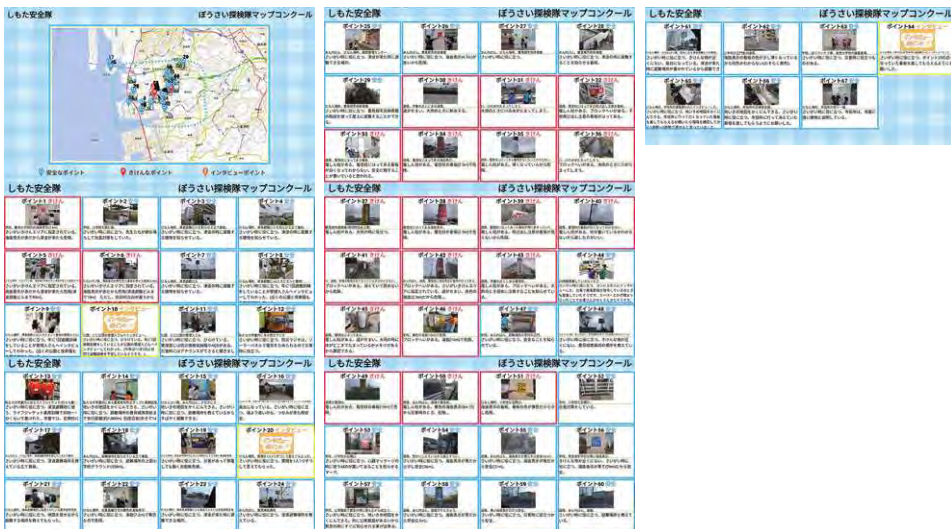


学年 3～5年生

人数 5人

分野 防災・交通安全

おきなわけん と みぐくし しもた じどう あんぜんたい 沖縄県豊見城市志茂田児童クラブ「しもた安全隊」



ひょうか 評価されたポイント

- まち探検で発見した危険箇所を市役所や児童クラブの仲間に伝えたり、地域の方に津波避難時の対策などについてインタビューしたりすることで、防災意識の向上につながったことがうかがえる。
- 児童クラブ周辺が津波避難地域に入っていることから、津波からの避難を意識してまち探検をしている。危険エリアの津波避難ビルの存在や海拔表示の意味など、防災情報の重要性に気づいている。また、自分を守るためのライフジャケットの必要性を学んでいる。

よろこ 喜びの声

じどう チームの児童のみなさん

みんなでがんばって作ったマップが選ばれてとてもうれしいです。いろんな場所を調べたり、たくさんの大人の人たちから災害に関する対策などもいっぱい聞いて本当に良かったです。ありがとうございます！

しどう 指導された 大城 新さん

子どもたちの主体性を重視し、大人はそれに協力するかたちで行動を見守りつつ、取材や移動手段のサポートを行いました。チームで作ったマップが評価されて本当にうれしく思います。ありがとうございました。

応募状況

表中の青文字は、入賞9作品・審査員特別賞8作品・デジタルマップ特別賞5作品・佳作60作品のいずれかに該当する小学校・団体です。

都道府県	応募団体数	応募作品数	児童数	学校・団体名
北海道	42	92	313	946プロテクターズ/NMDーズ/あーちゃんいーちゃんチーム/あすやよ探検隊/アンペコズ/エクスペディション/ごりょうかく探検隊/さやかりん探検隊/しのろキッズ/チームTYS/チームわか/チンパンジーキッズ/ゆいと探検隊/ゆうへい探検隊/よしえ探検隊/レンジャーチーム/旭川とうこうたんけん隊/旭川ボーイズ/釧路キッズ探検隊/光野キッズ/資生館キッズ/室蘭旭ヶ丘探検隊/小田原キッズ/小内探検隊/森キッズ/太小探検隊/帯広小仲間たち/帯広北栄エリア/知新小ぼうさい探検隊/天白探検隊/苫小牧探検隊/八軒探検隊/浜分探検隊/富沢探検隊/北海道札幌市立二条小学校/北海道札幌市立幌北小学校/北海道奥尻町立青苗小学校/北海道苫小牧市立苫小牧西小学校/すまいるキッズクラブ中央/札幌厚別区少年消防クラブ協議会/上富良野町少年消防クラブ
秋田	3	3	32	一ツ森ツインズ/扇田チーム/秋田県能代市立第五小学校
青森	10	53	171	チーム奥野/危険!発見!探検隊/弘前こども探検隊/女鹿沢探検隊/八小もりっち3人組/浜田探検隊/青森県むつ市立大畑小学校/青森県八戸市立田面木小学校/青森県八戸市立白銀南小学校/青森県青森市立横内小学校
岩手	11	20	99	くろきた調査隊/まえさわ探検隊/やはば探検隊/細川兄弟/川口探検隊/岩手県奥州市立衣川小学校/岩手県花巻市立八重畑小学校/岩手県紫波町立西の杜小学校/中里放課後子ども教室/東徳田地区子供会/白滝子供会
宮城	18	38	609	いまぶちキッズ/キッズ探検隊/すずきたち/せんだい探検隊/そうた探検隊/バスケ大好き/りなきち/安全探検隊/一太探検隊/塩出探検隊/城南ぼうさい団体/泉探検隊/中森探検隊/宮城県仙台市立郡山小学校/宮城県石巻市立北上小学校/仙台市大野田児童館/宮城県仙台市立上野山小学校 防犯巡視員 歩く110番友の会/登米市社会福祉協議会登米支所 とよま防災探検隊
山形	11	15	40	ガールスカウト山形第3団・山形第5団/うさたん探検隊/ビクトリーパワーズ/ひらたキッズ/レッドスターズ/れのーず探検隊/興譲キッズ/五十鈴探検隊/酒田イズミ探検隊/南沼原探検隊/山形県東根市立東根小学校
福島	9	10	64	peach探検隊/RHG つるみだん少年探検隊/あかぎそらたんけんたい/れいと探検隊/わたなベキッズ/小原田探検隊/西部子ども公民館放課後児童クラブ こすもすクラブ/相馬市立中村第二小学校放課後児童クラブ いるかクラブ/福島県相馬市川原町児童センター みつばち防災探検隊
茨城	9	9	84	ボーイスカウトつくば第3団 ビーバースカウト隊/せんばキッズ/ハリーハック/れいあい仲良し隊/高松小学校 ながす探検隊/楓とえにし/野木崎地区探検隊/Kids Creation Afterschool/やちよエコクラブ
栃木	17	39	216	NA探検隊/あおはる探検隊/ザ笹沼/すずめのみや探検隊/ストロベリーポリス/スマイルキッズ/にじいろ探検隊/モアマナ/ようなん探検隊/わかかキッズ探検隊/下栗探検隊/小山探検隊/石井っこ/朝日町登校班軍団/栃木県日光市立大沢小学校/レフィールこども会/大田山地区 育成会
群馬	9	9	100	Tフォース Jr.ソフトテニスラボ/しんあお/めいとあお/緑町探検隊/群馬県藤岡市立鬼石小学校/下間仁田子ども会/鷲宮子ども会/上間仁田子ども会/中野谷子ども会
埼玉	16	64	291	ボーイスカウトさいたま104団カブ隊/yy探検隊/あやはる探検隊/そうかつインクル/チームユナノエ/ひまわり安全探検隊/鹿手キッズ/守山探検隊/西大宮探検隊/谷口探検隊/北本探検隊/埼玉県熊谷市立奈良小学校/埼玉県戸田市立芦原小学校/埼玉県所沢市立清進小学校/春日部市武里地区公民館/秩父市立宮地学童保育室
千葉	18	90	560	じーちゃんあぶないがいっぱい/スターキッズ/とけなん探検隊/まるまる探検隊/増田キッズ/東上町たんけんたい/冒険チームしまぎツインズ/防災4&5/千葉県旭市立中和小学校/千葉県御宿町立御宿小学校/千葉県一宮町立一宮小学校/千葉県山武市立大富小学校/千葉県市原市立ちはら台桜小学校/千葉県大網白里市立増穂北小学校/千葉県東金市立城西小学校/千葉県睦沢町立睦沢小学校/千葉県茂原市立東部小学校/千葉県柏市立土小学校
東京	40	221	1150	いとこと探検隊/たかの探検隊/にこにこめぐる探検隊/バトルシップ 三浦ブラザーズ/ミラキュラス探検隊/みんなの食堂ママごはん/宇喜田探検隊/錦町キッズ/戸田探検隊/江戸川探検/新小岩探検隊/大沢6丁目の子達/調布探検隊/田原町キッズ/品川探検隊/布田6丁目探検隊/福生市立福生第7小学校 PTAおやじの会/有明探検隊/真空拳キッズ/東京都羽村市立富士見小学校/東京都葛飾区立道上小学校/東京都江戸川区立第六葛西小学校/東京都国分寺市立第十小学校/東京都中野区立塔山小学校 3年/東京都荒川区立峡田小学校/東京都足立区立伊興小学校/東京都大田区立池上第二小学校/東京都大田区立馬込第二小学校/東京都日野市立南平小学校/東京都板橋区立高島第五小学校/東京都北区立なでしこ小学校/東京都目黒区立緑ヶ丘小学校/東京都日野市立日野第六小学校/ユレカアフタースクール/国領児童館学童クラブ/清瀬市ジュニアリーダーズクラブ/台東区立千束児童館/台東区立池之端児童館/保塚町会子供会/北多摩西部消防少年団
神奈川	18	21	158	ガールスカウト 神奈川県第53団/あおば探検隊/金田防災探検隊/深沢キッズ/角田子供会/公益財団法人かわさき市民活動センター 下間こども文化センター/公益財団法人かわさき市民活動センター 鷲沼小学校わくわくプラザ/公益財団法人かわさき市民活動センター 三田こども文化センター/公益財団法人かわさき市民活動センター 東小田小学校わくわくプラザ/公益財団法人かわさき市民活動センター 平こども文化センター/公益財団法人かわさき市民活動センター 枅形こども文化センター/公益財団法人藤沢市みらい創造財団 辻堂青少年会館/真福寺小学校わくわくプラザ/西菅小学校わくわくプラザ/川崎市立稲田小学校わくわくプラザ/川崎市立宮崎小学校わくわくプラザ/渡田こども文化センター/南百合小学校わくわくプラザ

応募状況

表中の青文字は、入賞9作品・審査員特別賞8作品・デジタルマップ特別賞5作品・佳作60作品のいずれかに該当する小学校・団体です。

都道府県	応募団体数	応募作品数	児童数	学校・団体名
新潟	9	31	159	阿賀町室谷 Jr.防災士/下町・青木島合同チーム/坂井なかよし結友キッズ/上越パトロールブラザーズ/東本町二丁目キッズ/新潟県新発田市立二葉小学校/新潟県村上立立瀬波小学校/坂井輪中学校区青少年育成協議会/小中川児童館 小中川探検隊
富山	6	7	13	casa探検隊/NHIM/にじいろちゃん/萩っ子/野村小学校キッズ/蛭川カーブ
石川	48	60	408	チーム東川/ちょこれとキッズ/ミライドンキッズ/粟田探検隊/金沢社の里小学校探検隊/重政探検隊/西南部探検隊/中村町探検隊/田中探検隊/加賀市立分校小学校/石川県小松市立月津小学校/かほく市子ども会 宇ノ気支部 宇気子ども会/かほく市子ども会 宇ノ気支部 横山子ども会/かほく市子ども会 宇ノ気支部 向野子ども会/かほく市子ども会 宇ノ気支部 指江子ども会/かほく市子ども会 宇ノ気支部 七窪子ども会/かほく市子ども会 宇ノ気支部 曙町子ども会/かほく市子ども会 宇ノ気支部 上田名子子ども会/かほく市子ども会 宇ノ気支部 大崎子ども会/かほく市子ども会 宇ノ気支部 内日角子ども会/かほく市子ども会 宇ノ気支部 本町子ども会/かほく市子ども会 下桜子ども会/かほく市子ども会 高松支部 旭町子ども会/かほく市子ども会 高松支部 夏栗子ども会/かほく市子ども会 高松支部 学園台子ども会/かほく市子ども会 高松支部 岸川町子ども会/かほく市子ども会 高松支部 元町子ども会/かほく市子ども会 高松支部 古宮町子ども会/かほく市子ども会 高松支部 三北子ども会/かほく市子ども会 高松支部 上伊丹町子ども会/かほく市子ども会 高松支部 瀬戸町子ども会/かほく市子ども会 高松支部 双葉子ども会/かほく市子ども会 高松支部 中沼子ども会/かほく市子ども会 高松支部 長柄町子ども会/かほく市子ども会 高松支部 内高松子ども会/かほく市子ども会 高松支部 南新町子ども会/かほく市子ども会 高松支部 南中町子ども会/かほく市子ども会 高松支部 ニツ屋子ども会/かほく市子ども会 七塚支部 はまなす子ども会/かほく市子ども会 七塚支部 ひばり子ども会/かほく市子ども会 七塚支部 みどり子ども会/かほく市子ども会 七塚支部 外日角子ども会/かほく市子ども会 七塚支部 若草子ども会/かほく市子ども会 七塚支部 青空子ども会/かほく市子ども会 七塚支部 白百合子ども会/かほく市子ども会 七塚支部 木津よつば子ども会/かほく市子ども会 六流子ども会/朝日放課後児童クラブ
福井	10	10	41	YUHATOJiコンビ/あそうづ探検隊/みのり探検隊/高橋姉妹/国見探検隊/今立ミニバスケ女子キッズ/森田探検隊/灯明寺探検隊/明新探検隊/福井県小浜市立雲浜小学校
山梨	7	12	114	に一つ君/玉諸探検隊/山梨YMCA キッズパラダイス/山梨YMCA きらきら教室/山梨YMCA プライムタイム/小室探検隊/笛吹市一宮児童館
長野	15	20	49	tsume探検隊/アカツキ探検隊/あぶないところ探し隊/おれんじkids/こども防災会議いなりやま/たかぎ村ぼうさい探検隊/なかじょう/ほんまち探検隊/安全探検隊/危ないところを見つけるチーム/栗田吉原あんぜん探検隊/御厨探検隊/寿台ぼうさい探検隊/上野探検隊/本原探検隊
岐阜	24	63	237	Security Boys/YT/アルファキッズ/オレンジキッズ/シバナ探検隊/にこにこキッズ/ハルキッズ/ゆうなかな/横山探検隊/丸子ぼうさいキッズ/岐阜市鍵屋調査隊/光キッズ/大垣小林家探検隊/大山探検隊/中村探検隊/仲よし探検隊/田原探検隊/東上町/飛騨の鬼頭家/岐阜県可児市立広見小学校/岐阜県高山市立新尾小学校/東小学校防災クラブ/一般社団法人ヒトノネ/滝呂地域力向上実行委員会
静岡	12	48	149	ガールスカウト静岡県第24団/ガールスカウト静岡県第34団/NaluPiliAloha/あだちたんけんたい/はとり探検隊/やどん探検隊/安東キッズ/伊豆ジオスクール/岩松探検隊/静岡県藤枝市立藤枝中央小学校/伊豆半島ジオガイド協会/池小学童クラブ サニーサイド
愛知	57	96	303	ボーイスカウトあま第3団/ボーイスカウト岡崎第11団/ボーイスカウト名古屋第11団第23団カブスカウト隊/日本ボーイスカウト愛知連盟 名古屋第31団/IKS/Masa探検隊/あやりな探検隊/あらかわ探検隊/おおすか探検隊/かりん/こうしゅう探検隊/こうたんけんたい/たかはまキッズ/たけのこず/チーム熱盛/トヨタ探検隊/ひめたんけんたい/ポナール探検隊/むらくもキッズ/ゆーずー探検隊/ゆたかkids/りょうた探検隊/りりたんけんたい/れおん探検隊/わんにゃんキッズ/伊藤キッズ/横山キッズ/黄ピクミンズ/刈谷探検隊/金城小キッズ/元気キッズ/黒笹キッズ/三郷探検隊/子どもの学びラボ/春日井防災キッズ探偵団/小野探検隊/正木 KIDS FIRE GUARD/川口っ子/川北5キッズ/双子探検隊/知立みなみ探検隊/中ノ浜キッズ/中村 kids/仲よし兄妹探検隊/長久手だいすき防災チーム/白沢探検隊/ハツ田キッズ/八幡学区探検隊/姫島探検隊/本宮探検隊/万場キッズ/味岡キッズ/緑区探検隊/愛知県西尾市立立室小学校/愛知県豊田市立足助小学校/愛知県半田市立成岩小学校/TELACO一校
三重	16	41	227	KITAHAMA/observer/TUBE/ベルフラワーガールズ/みなと探検隊/リンリン/レイマコ探検隊/桔梗が丘探検隊/中山探検隊/嶋田家/明和キッズ/三重県四日市市立八郷西小学校/三重県志摩市立浜島小学校/鳥羽市あらっご放課後子ども教室/鳥羽市かもっこ放課後子ども教室/鳥羽市安楽島子ども会
滋賀	7	8	23	くるみペン/スプラキッズ/ひこねっこあんぜん探検隊/新旭南なかよし探検隊/滋賀県甲賀市立甲南第三小学校/野洲市社会福祉協議会 篠原第1.2学童保育所/野洲市社会福祉協議会 北野学童保育所音楽室
京都	6	9	43	ももキッズ/吉祥院探検隊/城山台ぼうさい探検隊/南小探検隊/京都市修学院児童館/京都市右京ジュニア消防団
大阪	16	129	513	ガールスカウト大阪府第21団/ボーイスカウト大阪連盟きたおおさか地区交野3団カブ隊/ボーイスカウト枚方第5団カブ隊/おざわキッズ/ことぶき探検隊/ことゆな探検隊/スプラ探検隊/ルッキーズ/今里探検隊/大阪府堺市立英彰小学校/大阪府堺市立三原台小学校/大阪府堺市立新湊小学校/大阪府大阪市立晴明丘南小学校/大阪府堺市立新櫛尾台小学校/大阪府吹田市立高野台小学校/大阪府大阪市立城北小学校

小学生だけでなく、さまざまな年齢層の方々が主体となって、「参考作品」としてこの活動に参加されています。

都道府県	応募団体数	応募作品数	児童数	学校・団体名
兵庫	11	25	87	maedaキッズ/しの・たま/にしわき探検隊/ぼうさい探検隊 神戸キッズ0819/雲中たんけんたい/古江探検隊/潮見台町探検隊/尾上キッズ/用海地区班/兵庫県神戸市立西舞子小学校/兵庫県三木市立豊地小学校
奈良	3	4	21	日本ボーイスカウト奈良県連盟 大和郡山第1団カブスカウト隊/香芝市二上エリア探検隊/斑鳩少年ぼうさい団
和歌山	16	71	418	朝日会/和歌山県橋本市立三石小学校/和歌山県橋本市立清水小学校/和歌山県有田郡有田川町立御霊小学校/和歌山県すさみ町立周参見小学校/和歌山県橋本市立城山小学校/和歌山県新宮市立三輪崎小学校/和歌山県田辺市立上山路小学校/和歌山県有田郡広川町立広小学校/和歌山県有田郡有田川町立石垣小学校/和歌山県有田郡有田川町立八幡小学校3年生/和歌山県立南紀はまゆう支援学校 小学部 6年生/和歌山県和歌山市立野崎西小学校/和歌山県和歌山市立西和佐小学校/黒江こども会/名高ビル子供会
鳥取	5	5	11	くらし住吉キッズ/チーム宿題/フラワーキッズ/金太郎/鳥取なっちゃん
島根	7	9	36	ガネッ子フレンドリークラブ/しおっぴー探検隊/そうま探検隊/どんちっち隊/高津ぼうさい探検隊/川津探検隊/島根県松江市立鹿島東小学校
岡山	9	14	79	あいおい岡山キッズ/がんばり KIDS/くらし安全安心探検隊/スイミー探検隊/チーム小松原/西大寺探検隊/田井地域 探検隊/岡山県倉敷市立下津井西小学校/YMCAせとうち グローバルアフタースクール
広島	16	34	120	こん探検隊/しほ・かほ探検隊/チーム貴船/チーム川角/チーム中溝/へさか探検隊/れな・りお/魁士 緋龍探検隊/広島ぼうさい探検隊/広島市防災士ネットワーク/東広島ぼうさいキッズ/北出探検隊/広島県呉市立倉橋小学校/広島県三次市立田幸小学校/広島県江田島市立江田島小学校/広島県北広島町立新庄小学校
山口	7	20	60	キッズ探偵団/はるか&あいか/高松防災探検隊/黒石キッズ/大西キッズ/山口県下関市立向井小学校/山口県岩国市立装港小学校
徳島	10	12	50	いちよんキッズ/キッズステーション NARUTO/きのこの里/クロモフ/とくしま万代町探検隊/ハッシュョーマップーズ/助任たんけんたい/仲よしきょうだい/八万町調査隊/徳島県阿南市立津乃峰小学校
香川	13	65	497	A.R.探検隊/SANARIN/あんしんキッズ/ユウナル探検隊/横山家/原田家/香川大学防災ボランティア講座/香川県観音寺市立観音寺小学校/香川県高松市立高松第一小学校/香川県高松市立川岡小学校6年団/香川県高松市立太田南小学校/香川県高松市立木太南小学校/学童クラブ ゆうか
愛媛	13	42	164	3匹のこぐま/けんこうブラザーズ/みさけ探検隊/松山西探検隊/湯築探検隊/愛媛県愛南町立柏小学校/愛媛県愛南町立平城小学校/愛媛県宇和島市立遊子小学校/愛媛県宇和島市立成妙小学校/愛媛県宇和島市立立間小学校/愛媛県上島町立生名小学校/愛媛県八幡浜市立双岩小学校/麻生児童館
高知	7	18	138	こうちチャレンジ防災探検隊/森家/南海少年寮/高知県香美市立山田小学校/高知県土佐市立蓮池小学校/高知県本山町立本山小学校/児童養護施設 子供の家
福岡	9	43	209	日本ボーイスカウト福岡県連盟那珂川11団/アメピチ探検家/安武校区ぼうさい探検隊/梶原探検隊/中島小学校探検隊/長丘ぼうさい探検隊/福岡県築上町立上城井小学校/福岡県福岡市立三苦小学校/宮ノ陣校区ぼうさい探検隊
佐賀	5	17	91	横手元気キッズ/宮野子供クラブ/佐賀県鹿島市立鹿島小学校/佐賀県白石町立北明小学校/新町子どもクラブ
長崎	4	7	133	佐世保探検隊/石井(本多)ファミリー/千年ファミリー/長崎県長崎市立戸町小学校 戸町学童保育たけのこクラブ
熊本	7	7	18	たくにし☆キッズ/チームアサ・カナ/トモダ1号2号/ナカガワキッズ/玉祥寺たんけん隊2/桜町キッズ/悠藍探検隊
大分	4	10	82	とよおか児童クラブ/ポラリス児童クラブ/吉野児童育成クラブ/碩田学園児童育成クラブ
宮崎	9	9	45	えがおでみらいをまもれなかよし探検隊/チーム恒久/モノ・ソナ探検隊/もふもふクラブ/ライト・アヤカ探検隊/東大宮探検隊/宮崎県延岡市立港小学校/社会福祉法人ゆりかご福祉会第二ゆりかご児童クラブ/宮崎南小学校消防クラブ
鹿児島	5	22	120	T.Kキッズ/T.F マスターキッズ/もり探検/鹿児島県鹿児島市立皆与志小学校/鹿児島県鹿児島市立西田小学校
沖縄	32	51	303	こくラッコガールズ/なはつ子チーム/ゆかさたマップ/豊崎ぼうさい探検隊/与那原ぼうさい探検隊/いしかわ児童館/にこにこ学童大西クラブ/にしぎき学童クラブ/ひだまり学童 CLUB/ひばり放課後児童クラブ/わくわく前田学童クラブ/わくわく沢岬学童クラブ/一般社団法人まちづくりうらそえ浦添市立宮城っ子児童センター/沖縄県浦添市立宮城ヶ原児童センター/沖縄県学童保育運営サポート協会 第三前田学童クラブ/沖縄県豊見城市なないろ児童クラブ/沖縄県豊見城市なないろ児童クラブ2/沖縄県豊見城市志茂田児童クラブ/沖縄市高原子ども会育成会/宜野湾市我如古児童センター/子供の世界学童クラブ/社会福祉法人三河福祉会 すてら学童クラブ/前田学童クラブ/第2わくわく前田学童/第二前田学童クラブ/第二牧港学童クラブ/平一放課後児童クラブ/豊崎学童クラブ/豊崎児童クラブ/北山学童/牧港学童クラブ/壺屋児童館
海外	2	5	56	ケベック探検隊 in Canada/ワットマイバーンクラー学校(Wat Mai Bangkokla School)

過去の入選作品

ぼうさい探検隊マップコンクール入選校・団体(第15回～第19回まで)

※「」内はチーム名です。

参加団体数・ マップ数・児童数	第15回(2018年度)566団体(271校・295団体) 2,865作品 17,983人	第16回(2019年度)594団体(240校・354団体) 2,541作品 16,492人
文部科学大臣賞	愛媛県南宇和郡愛南町立家串小学校 「家串ドリームチーム」(5、6年生/愛媛県)	愛媛県宇和島市立三浦小学校 「防災キッズ TOYOURA 4」(4、5年生/愛媛県)
防災担当大臣賞	福島県相馬市川原町児童センター 「みつばち防災探検隊」(3年生/福島県)	かほく市子ども会 高松支部 内高松子ども会 「内高松子ども会」(6年生/石川県)
消防庁長官賞	高知県本山町立吉野小学校 「寺家チーム」(5、6年生/高知県)	愛知県豊田市立足助小学校 「足助の安全・安心を守るたんけん隊」(4年生/愛知県)
まちのぼうさいキッズ賞	ガールスカウト奈良県第22団 「ジュニア部門「メジロパトロール」」(4～6年生/奈良県)	高知県本山町立吉野小学校 「少年少女防災探検隊」(5、6年生/高知県)
気象庁長官賞	富士見キッズ 「Chipika」(2、3年生/東京都)	香川県三豊市仁尾町児童館 「におっこ清掃探検隊」(1～6年生/香川県)
キッズリスクアドバイザー賞	香川県三豊市仁尾町児童館 「におっこ清掃探検隊」(1～6年生/香川県)	岡山県岡山市立宇野小学校 原尾島チーム 「宇野小学校 原尾島チーム」(3、5年生、中学1年生/岡山県)
未来へのまちづくり賞	沖縄県那覇市立城東小学校 「ちゅらっこ城東」(6年生/沖縄県)	神奈川県横浜市立汐見台小学校 「汐見台パトロール隊」(6年生/神奈川県)
わがまち再発見賞	愛媛県愛南町立東海小学校 「東海9」(2、4～6年生/愛媛県)	北川ブラザーズ 「北川ブラザーズ」(5年生/三重県)
ぼうさい探検隊賞	レンジャー探検隊 「レンジャー探検隊」(3、5年生/茨城県)	東京都足立区立西新井小学校 「西新井小学校 水色チーム」(5年生/東京都)
審査員特別賞	北海道札幌南区川沿少年消防クラブ 「川沿未来レスキュー隊」(1～6年生、中学1年生/北海道)	北海道札幌南区川沿少年消防クラブ 「川沿未来見守り隊」(1～6年生、中学1、2年生/北海道)
	岩手県矢巾町立徳田小学校北郡山子ども会 「北郡山子ども会 1班」(1～4年生/岩手県)	西部子ども公民館放課後児童クラブこすもすクラブ 「こすもす探検隊」(4、5年生/福島県)
	新潟県新潟市立白山小学校 「白山安全まもり隊」(3、5年生/新潟県)	富士見キッズ 「Chipika」(3、4年生/東京都)
	神奈川県横浜市立汐見台小学校 「汐見台パトロール隊」(5年生/神奈川県)	長野県松本市 島内子ども会育成会 「チームしまうちっ子」(3～6年生/長野県)
	石川県加賀市立金明小学校 「金明安全・安心守り隊」(4年生/石川県)	徳島県阿南市立津乃峰小学校 「つのみね小3年生」(3年生/徳島県)
	かほく市子ども会 宇ノ気支部 内日角子ども会 「内日角キッズポリス」(6年生/石川県)	『街角の、危険なヒヤリ!ハッと!』探検隊 『街角の危険なヒヤリ!ハッと!』探検隊」(4年生/熊本県)
	鳥羽市安楽島子ども会 「安楽島キッズ探検隊」(1、3～6年生、年中、年長/三重県)	豊見城市なないろ児童クラブ2 「ウォーターZグループ」(3、4年生/沖縄県)
	京都市葵児童館学童クラブ3～6年生・京都府立洛北高校生徒会 「葵児童館安全探検隊」(3～6年生、高校生/京都府)	豊崎学童クラブ 「とよさきこうえんまもりたい」(1、2年生/沖縄県)
デジタルマップ特別賞		

第17回(2020年度)307団体(76校・231団体) 960作品 5,159人	第18回(2021年度)371団体(73校・298団体) 971作品 5,697人
北川家 「北川ブラザーズ」(6年生/三重県)	愛媛県宇和島市立奥南小学校 「板の浦・中浦なかよし組」(3~6年生/愛媛県)
愛媛県宇和島市立三浦小学校 「防災キッズ ファイブスター」(3,4年生/愛媛県)	はちぶせ探検隊 「みんなの命をつなぎ隊 谷瀬三兄弟」(1,4,6年生/和歌山県)
北海道札幌南区川沿少年消防クラブ 「川沿未来レスキュー隊」(2~6年生/北海道)	高知県長岡郡本山町立本山小学校 「本山町土砂災害なくし隊」(6年生/高知県)
福島県相馬市川原町児童センター 「みつばち防災探検隊」(3年生/福島県)	Kids Creation Afterschool 「Kids Creation TSUKUBA ぼうさい探検隊」(1~4,6年生/茨城県)
東京都足立区立西新井小学校 「西新井小学校」(5年生/東京都)	公益財団法人かわさき市民活動センター 向丘小学校わくわくプラザ 「みんなのためにがんばる!子どもリーダー」(1~3年生/神奈川県)
岡山県岡山市立宇野小学校 原尾島チーム 「岡山市立宇野小学校 原尾島チーム」(4,6,中学2年生/岡山県)	ひとよし防災ワクワク組 「ひとよし防災ワクワク組」(1,2,4年生/熊本県)
北海道奥尻町立青苗小学校 「奥尻町 青苗小3・4年 ぼうさいキッズ」(3,4年生/北海道)	西部子ども公民館放課後児童クラブ こすもすクラブ 「こすもす探検隊」(4年生/福島県)
沖縄県浦添市立宮城ヶ原児童センター 「スマイルフラワー」(5,6年生/沖縄県)	福井県小浜市立雲浜小学校 「チームうんぴん」(4年生/福井県)
福井県小浜市立雲浜小学校 「雲浜防災マップ作り隊」(3年生/福井県)	北海道奥尻町立青苗小学校 「青苗小3・4年ぼうさいキッズ」(3,4年生/北海道)
中里放課後子ども教室 「中里放課後子ども教室」(4年生/岩手県)	北海道札幌南区川沿少年消防クラブ 「川沿未来レスキュー隊」(3~6年生/北海道)
西部子ども公民館放課後児童クラブこすもすクラブ 「こすもす探検隊」(4年生/福島県)	中里放課後子ども教室 「中里放課後子ども教室」(4年生/岩手県)
公益財団法人かわさき市民活動センター 向丘小学校わくわくプラザ 「向丘小学校わくわくプラザ子どもリーダー」(1~3,5年生/神奈川県)	相馬市立中村第二小学校 放課後児童クラブ かもめクラブ 「かもめ探検隊」(3年生/福島県)
ガールスカウト山口県第3団 「ガールスカウト山口県第3団ブラウニー(3年生)」(3年生/山口県)	レンジャー探検隊 「レンジャー探検隊」(6年生/茨城県)
愛媛県愛南町立船越小学校 「船越防災隊」(3,4,6年生/愛媛県)	かほく市子ども会 高松支部 内高松子ども会 「地域の皆を守り隊」(6年生/石川県)
高知県佐川町立斗賀野小学校 「犠牲者なくそう防災チーム」(6年生/高知県)	かほく市子ども会 宇ノ気支部 栄町子ども会 「栄町キッズレンジャー」(5,6年生/石川県)
社会福祉法人 愛育福祉会 こばと児童クラブ 「こばと探検隊」(2年生/宮崎県)	沖縄県浦添市立宮城ヶ原児童センター 「スマイル探検隊」(3,5年生/沖縄県)
豊崎学童クラブ 「豊見城安全守りたい」(1~4年生/沖縄県)	北山学童 「みんながたいせつ守り隊」(4年生/沖縄県)
加美消防署西部分署 「どどんこぱっく」(5年生/宮城県)	THE OBATA 「THE OBATA」(6年生/愛知県)
ガールスカウト神奈川県第53団 「GS KANAGAWA 53」(3~6年生,中学1年生/神奈川県)	ガールスカウト神奈川県第53団 「GS KANAGAWA 53 2班」(4,6年生/神奈川県)
鳥羽市安楽島子ども会 「安楽島キッズ探検隊」(1~6年生/三重県)	いまいずみ児童クラブ 「いずみっこ anzen洪水チーム」(3~5年生/静岡県)
徳島県阿南市立橘小学校 「ぼうさいさんぽ3班」(3年生/徳島県)	鳥羽市安楽島子ども会 「安楽島キッズ探検隊」(1~5年生,幼児/三重県)
豊見城市なないろ児童クラブ 「なないろキングス」(3年生/沖縄県)	沖縄県豊見城市なないろ児童クラブ 「防災キッズレインボー探検隊」(2,3年生/沖縄県)

過去の入選作品

ぼうさい探検隊マップコンクール入選校・団体(第15回～第19回まで)

※「 」内はチーム名です。

参加団体数・マップ数・児童数	第19回(2022年度)410団体(84校・326団体)1,179作品 6,137人
文部科学大臣賞	福島県相馬市川原町児童センター みつばち防災探検隊 「みつばちぼうさい探検隊」(3年生/福島県)
防災担当大臣賞	蓮田安心探検隊 「蓮田安心探検隊」(4年生/埼玉県)
消防庁長官賞	公益財団法人かわさき市民活動センター 東小田小学校わくわくプラザ 「東小田小学校わくわく調査隊」(2、3年生/神奈川県)
まちのぼうさいキッズ賞	北海道函館聾学校 「函聾5年生」(5年生/北海道)
気象庁長官賞	愛媛県伊予市立佐礼谷小学校 「佐礼谷小学校ほたる守り隊」(5、6年生/愛媛県)
キッズリスクアドバイザー賞	みやだ探検隊 「宮田探検隊」(1、4年生/長野県)
未来へのまちづくり賞	岩手県盛岡市立厨川小学校 境田町子供会 「境田町子ども会」(6年生/岩手県)
わがまち再発見賞	レックス探検隊 「とあみり」(4、6年生/滋賀県)
ぼうさい探検隊賞	かほく市子ども会 宇ノ気支部 内日角子ども会 「『STOP! アクシデント』キッズ」(6年生/石川県)
審査員特別賞	北海道奥尻町立青苗小学校 「青苗小3・4年 ぼうさいキッズ」(3、4年生/北海道)
	宮城県石巻市立北上小学校 「北上小学校4年生(現5年生)」(4年生/宮城県)
	公益財団法人かわさき市民活動センター宮崎こども文化センター 「宮崎こ文パトロール隊」(3、4年生/神奈川県)
	愛媛県宇和島市立奥南小学校 「たんけん隊(船間、楠ヶ浦、大良)」(4～6年生/愛媛県)
	筒井探検隊 「筒井探検隊」(2、4年生、年少/福岡県)
	沖縄県石垣市立名蔵小学校 「名蔵探検隊」(5、6年生/沖縄県)
	豊崎学童クラブ 「toyosakiガールズ」(3、4年生/沖縄県)
北山学童 「手をつないですすめ隊」(3、5年生/沖縄県)	
デジタルマップ特別賞	大野小学校 野木崎地区探検隊 「野木崎地区探検隊」(2、6年生/茨城県)
	鳥羽市安楽島子ども会 「安楽島キッズ探検隊」(2～6年生、年長、年中/三重県)
	大西キッズ 「大西キッズ」(3、5年生/山口県)
	高知県立高知ろう学校 「高知ろう学校小学部」(3、5年生/高知県)
	沖縄県豊見城市なないろ児童クラブ 「オーシャンスカイ探検隊」(3、4年生/沖縄県)

継続参加団体

応募回数	学校・団体名
20回連続	愛知県豊田市立足助小学校
19回	鳥羽市安楽島子ども会／ 福島県相馬市川原町児童センター みつばち防災探検隊
18回	ガールスカウト大阪府第21団
17回	ガールスカウト神奈川県第53団／ガールスカウト静岡県第34団
16回	社会福祉法人ゆりかご福祉会第二ゆりかご児童クラブ
15回	正木 KIDS FIRE GUARD／東京都江戸川区立第六葛西小学校
14回	相馬市立中村第二小学校放課後児童クラブ いるかクラブ／ 鳥羽市かもっこ放課後子ども教室
13回	ガールスカウト静岡県第24団／沖縄県豊見城市なないろ児童クラブ2／ 和歌山県有田郡広川町立広小学校
12回	ボーイスカウトさいたま104団カブ隊／吉野児童育成クラブ／ やちよエコクラブ／ひばり放課後児童クラブ
11回	東京都日野市立日野第六小学校／沖縄県浦添市立宮城ヶ原児童センター／ かほく市子ども会 宇ノ気支部 横山子ども会／ かほく市子ども会 七塚支部 みどり子ども会／ かほく市子ども会 七塚支部 外日角子ども会／千葉県睦沢町立睦沢小学校／ 東京都足立区立伊興小学校／和歌山県新宮市立三輪崎小学校

上記は、これまでの20年間のマップコンクールにおいて、継続的にご応募いただいている小学校・団体(20回のうち11回以上のご参加)です。今後もぜひ、定期的・継続的な活動として取り組んでいただければ幸いです。



一般社団法人 日本損害保険協会 会員会社一覧

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
 アイペット損害保険株式会社
 アクサ損害保険株式会社
 アニコム損害保険株式会社
 イーデザイン損害保険株式会社
 A I G 損害保険株式会社
 エイチ・エス損害保険株式会社
 S B I 損害保険株式会社
 a u 損害保険株式会社
 キャピタル損害保険株式会社

共栄火災海上保険株式会社
 さくら損害保険株式会社
 ジェイアイ傷害火災保険株式会社
 セコム損害保険株式会社
 セゾン自動車火災保険株式会社
 全管協れいわ損害保険株式会社
 ソニー損害保険株式会社
 損害保険ジャパン株式会社
 大同火災海上保険株式会社
 東京海上日動火災保険株式会社

トーア再保険株式会社
 日新火災海上保険株式会社
 日本地震再保険株式会社
 ペット&ファミリー損害保険株式会社
 三井住友海上火災保険株式会社
 三井ダイレクト損害保険株式会社
 明治安田損害保険株式会社
 楽天損害保険株式会社
 レスキュー損害保険株式会社
 2024年1月現在(会員会社29社 50音順)

一般社団法人 **日本損害保険協会** 〒101-8335 東京都千代田区神田淡路町2-9

業務企画部 啓発・教育・防災グループ TEL : 03-3255-1215 FAX : 03-3255-1236



ぼうさい探検隊
特設サイト

